

HOW TO MAKE

作品の作り方

----- 0 -----
*特に指定のない数字の単位は全てcmです。

*材料に入る布の寸法は、横(幅)×縦(長さ)です。

*実物大型紙には縫い代がついていません。

それぞれ〔 〕内の寸法で縫い代をつけてください。



PHOTO_p.7

1 ミニリュックポーチ

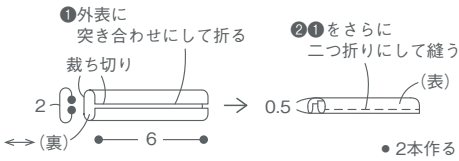
材料---

前側面表布 25 × 35cm、底・ループ・タブ 35 × 15cm、フラップ 25 × 20cm、裏布 25 × 35cm、
 ショルダー 25 × 35cm、接着キルト芯 20 × 15cm、1cm径スナップ1組、1.6cm幅角カン2個、
 1.6cm幅送りカン2個、1cm径マグネットホック（縫い付けタイプ）1組

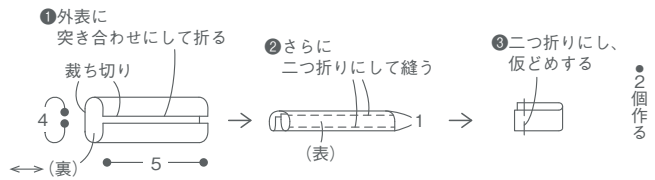
※縫い代は指定以外1cmつける

1 各パーツを作ります

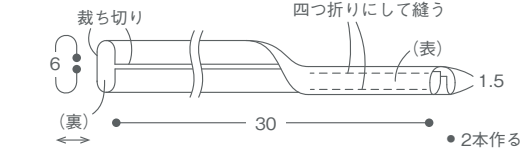
〈ループ〉



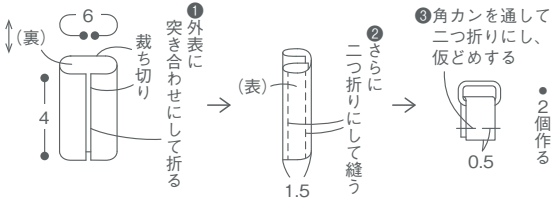
〈タブ〉



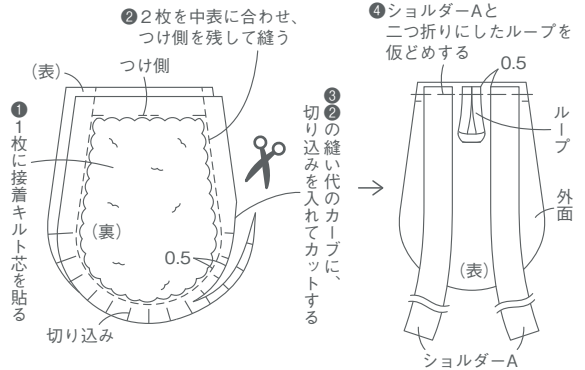
〈ショルダー A〉



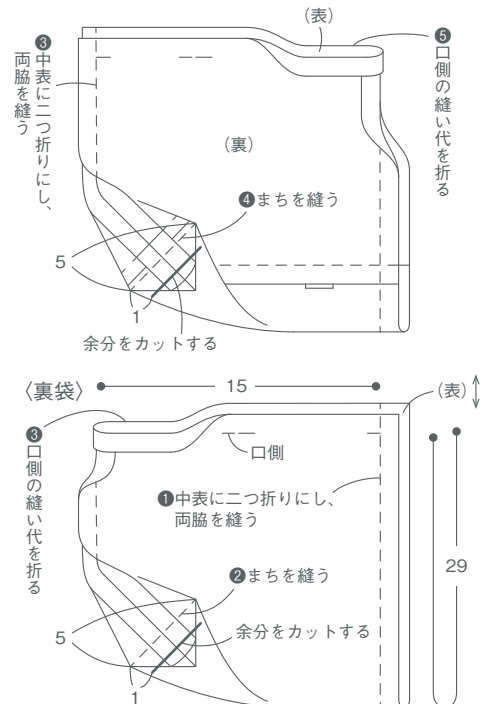
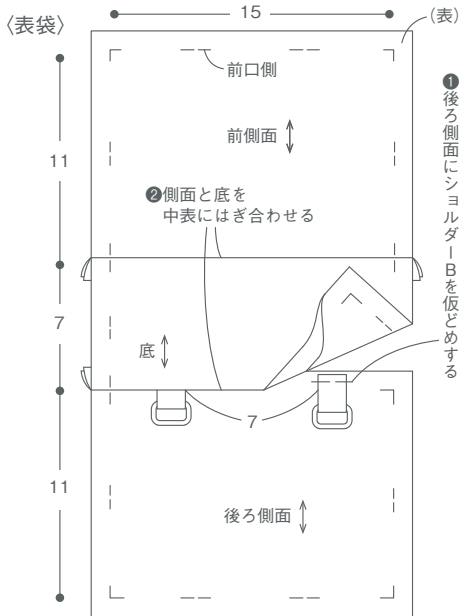
〈ショルダー B〉



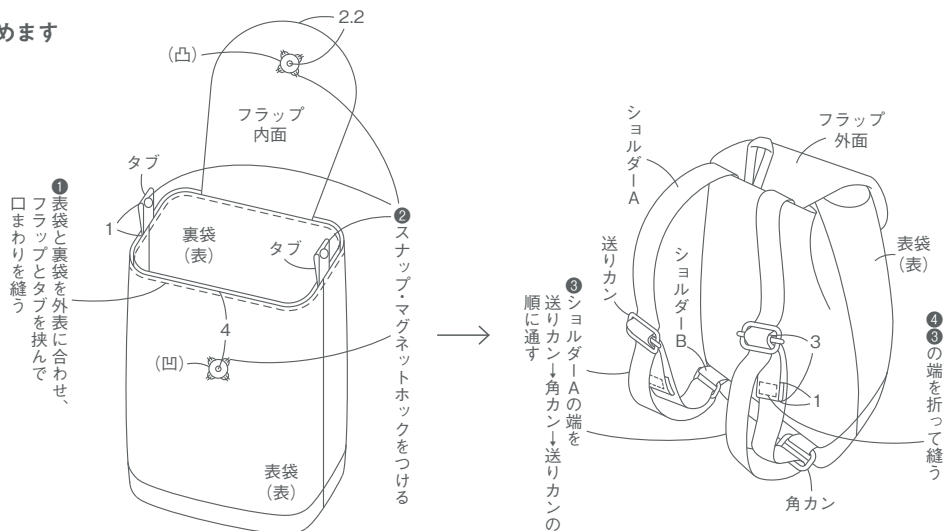
2 フラップを作ります



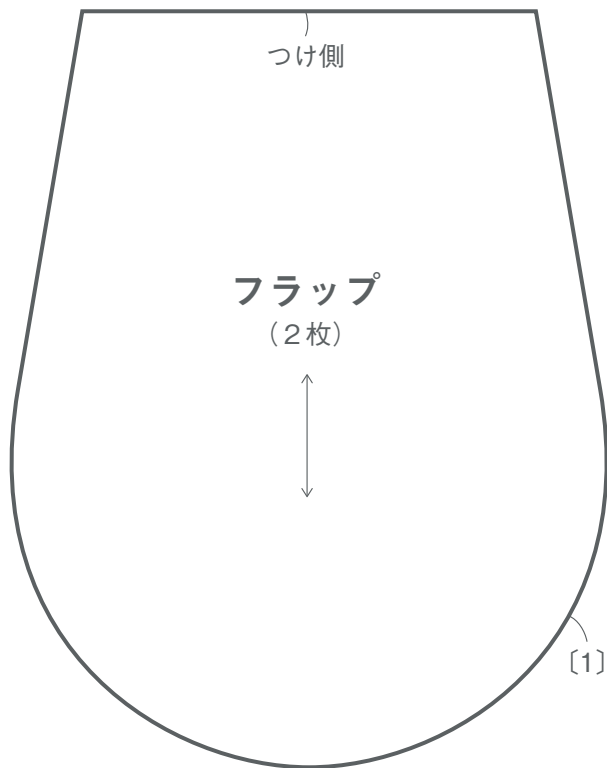
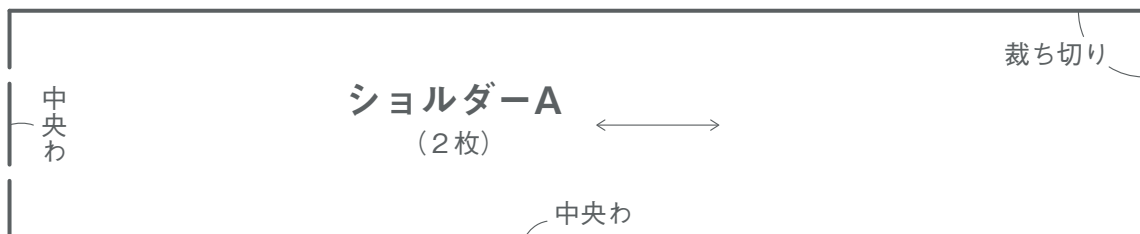
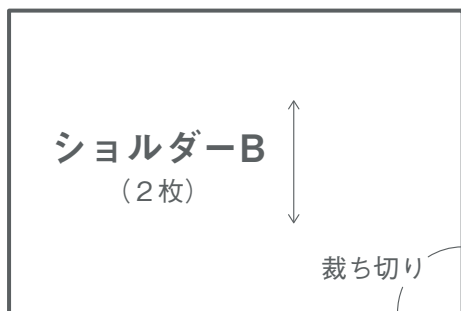
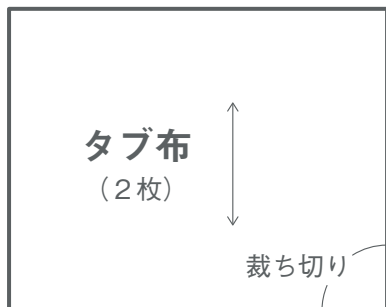
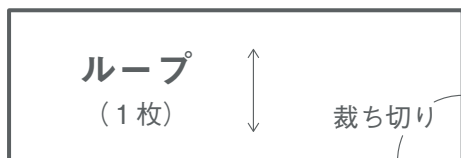
3 表袋と裏袋を作ります



4 まとめます



【実物大型紙】





2 春色水筒ケース

材料 (中サイズ) ---

側面表布 a・当て布 35 × 15cm、側面表布 b・ストラップ 25 × 30cm、側面表布 c・底表布 30 × 20cm、裏布 40 × 30cm、接着芯 40 × 30cm、接着キルト芯 40 × 30cm、1.5cm幅リボン 40cm、1.6cm幅両折りバイアステープ 30cm、1.5cm幅Dカン1個、1.5cm幅ナスカン1個、フリースタイルファスナー1本、リングスライダー1個

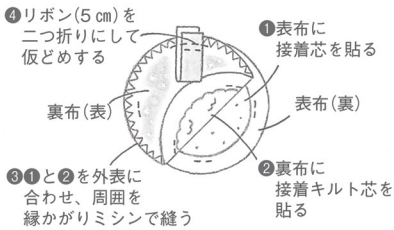
PHOTO_p.8

実物大型紙 --- p.62-64

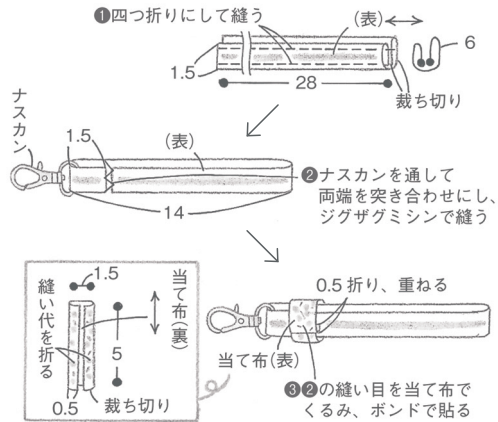
※縫い代は指定以外 0.7cmつける

1 各パーツを作ります

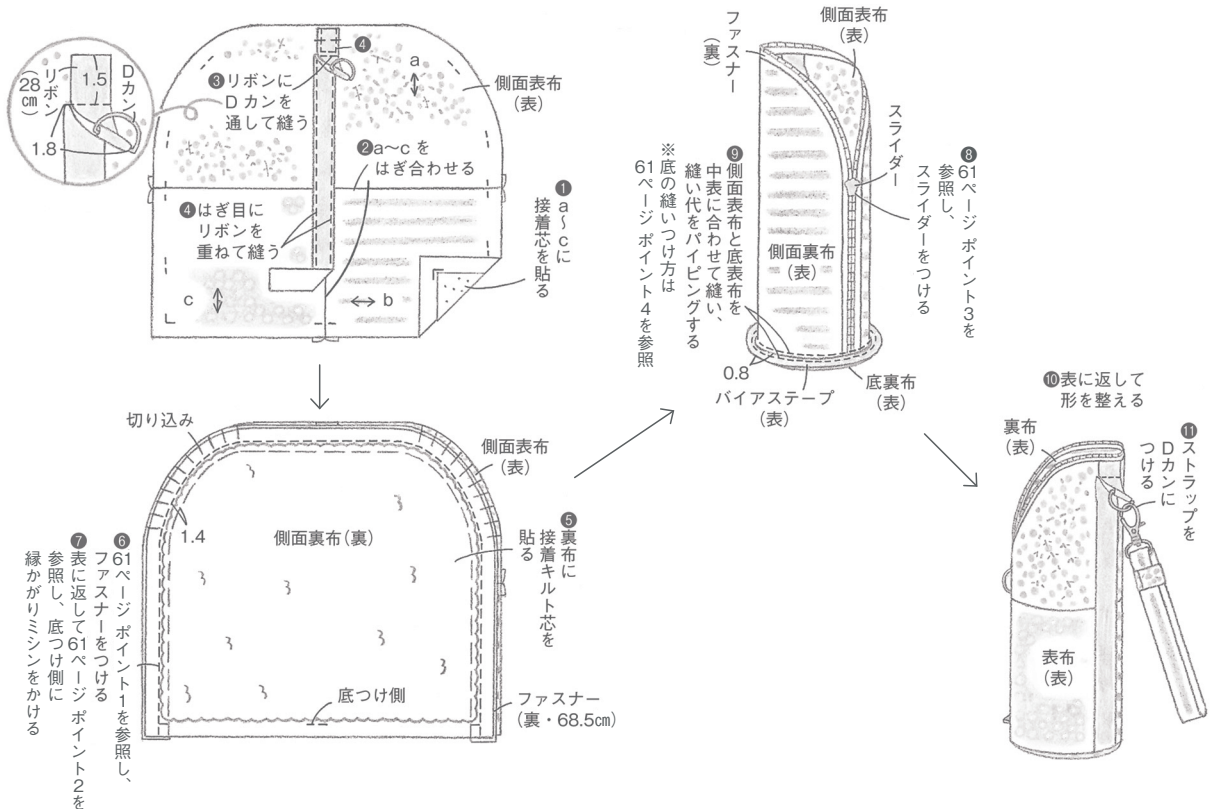
〈底〉



〈ストラップ〉



2 まとめます



春色水筒ケース — 作り方のワンポイントレッスン —

フリースタイルファスナーは、ファスナーとスライダーを好みの色で合わせられます。長さ調節もハサミで簡単にカットできるので、慣れると使い勝手抜群です。

便利な素材



作品の色に合わせてスライダーの色を選べるのがうれしい。フリースタイルファスナー、スライダー/日本紐釦貿易

POINT 1

ファスナーのつけ方



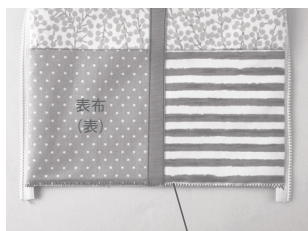
1 側面表布にファスナーをソーイングクリップで仮どめする。その上に側面裏布をのせる。ファスナーはこの時点ではまだ切らない。



2 しつけをかけ、裏布のキルト芯のきわに沿って縫う。ファスナーはこの時点で余分を切り落とす。ハサミで簡単に切れる。

POINT 2

底つけ側の処理



緑かがりミシンをかけておくことと底と縫い合わせやすい

ファスナーをつけ、表に返して形を整えたら、表布と裏布を2枚一緒に底つけ側に縁かがりミシンをかける。

POINT 3

スライダーのつけ方



NG!

スライダーをファスナーに差し込むが、このときに表布のはぎ目の位置が合っていることを確認して！スライダーは何度でもつけ外しできるので、ピッタリの位置にはぎ目がくるように調整を。

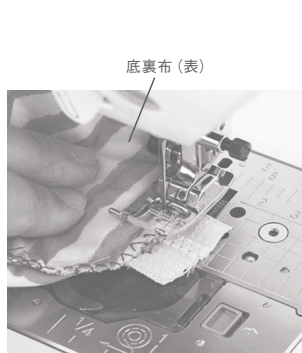
POINT 4

底の縫いつけ方



1

ファスナーを閉じた状態で底表布と側面表布を中表に合わせる。小さい部分にまちな針を何本も打つと、針が手に当たって危険なので、仮どめはクリップを使うのがおすすめ。



2

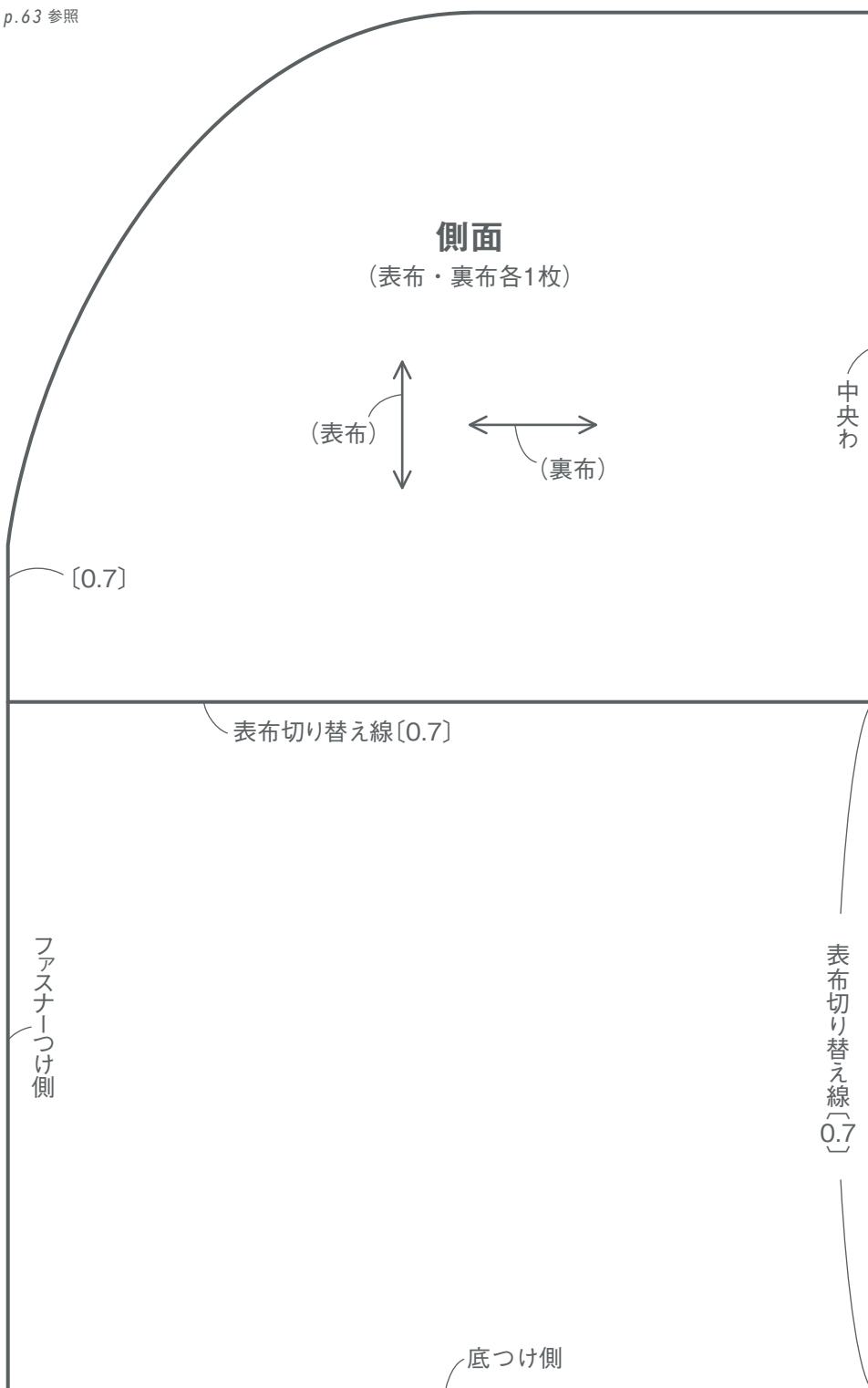
ファスナー部分は厚みがあるので、フットコントローラーではなくプーリーを回してゆっくり縫うといい。

【実物大型紙】

p.60_ 春色水筒ケース (小)

※ [] 内は縫い代の寸法

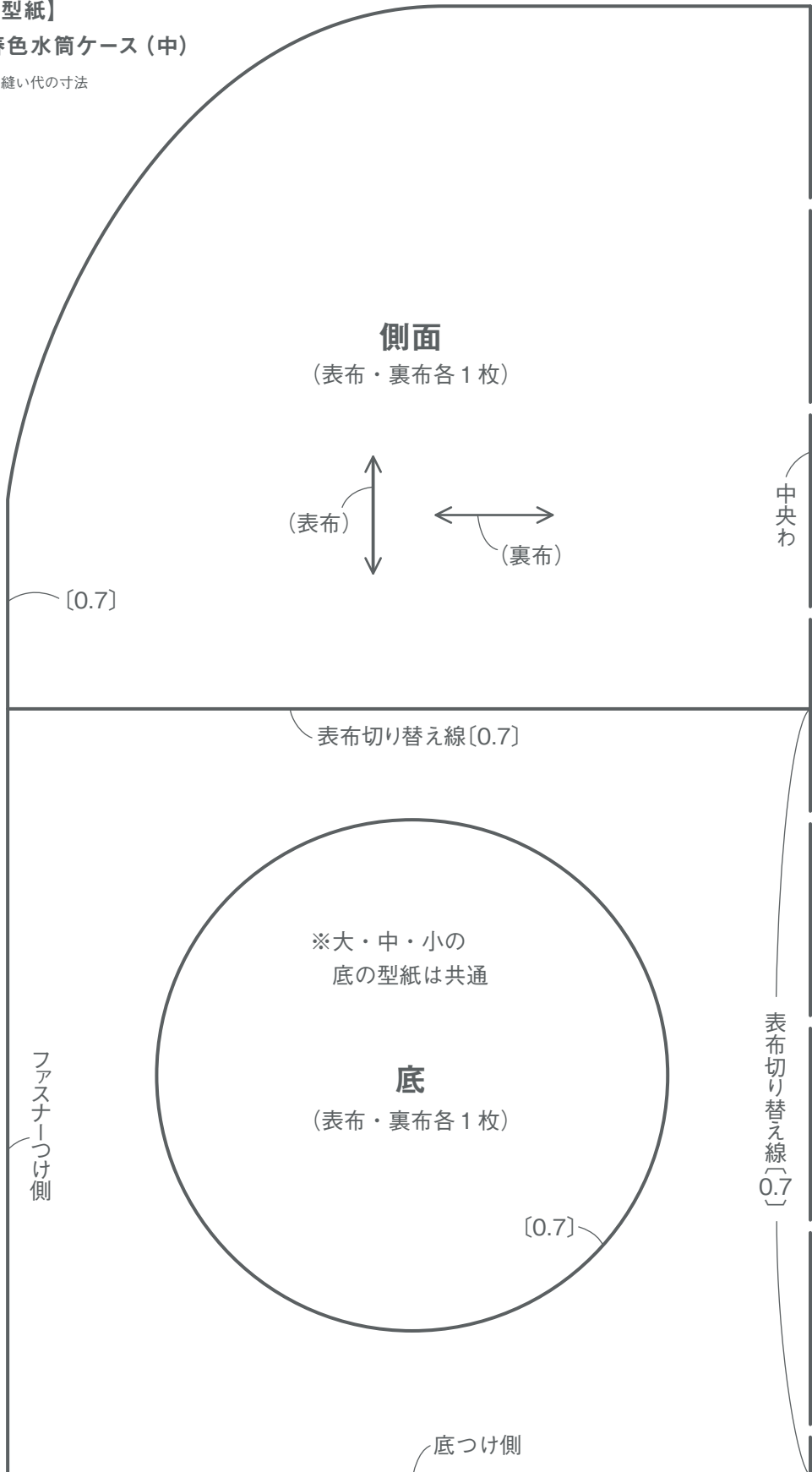
※底の型紙は p.63 参照



【実物大型紙】

p.60_ 春色水筒ケース (中)

※ [] 内は縫い代の寸法

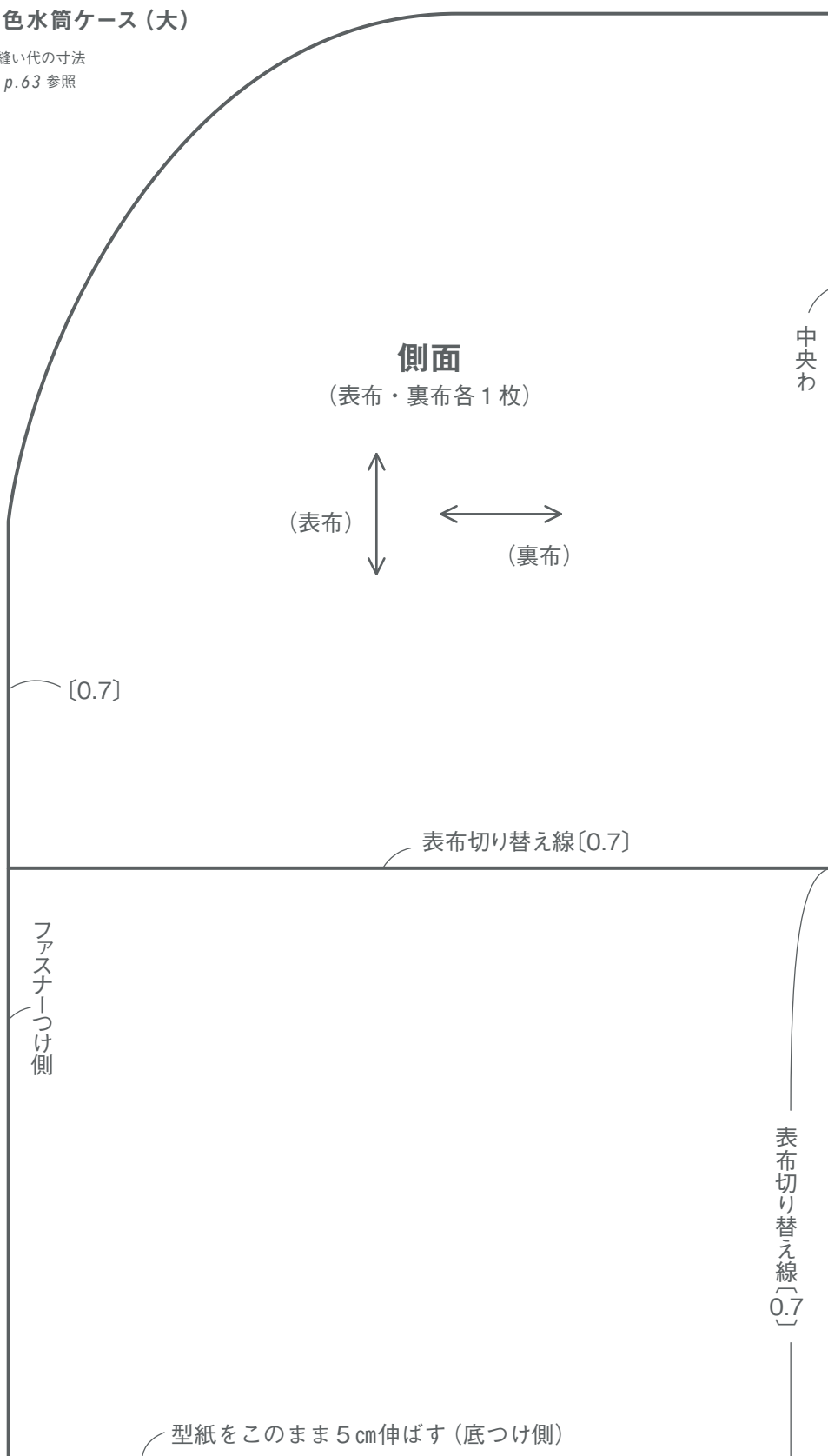


【実物大型紙】

p.60_ 春色水筒ケース (大)

※〔 〕内は縫い代の寸法

※底の型紙は p.63 参照





PHOTO_p.16

PHOTO_p.48

6 身だしなみポーチ

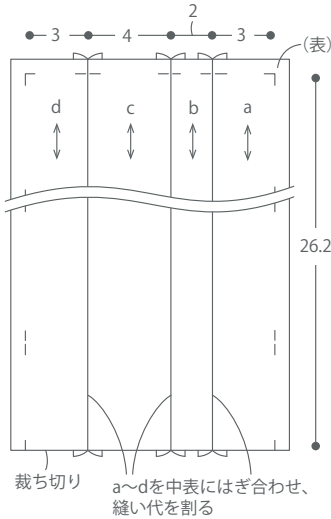
材料---

本体 a・本体 e・ファスナーポケット裏布・向こう布 40×50cm、
 本体 b・ファスナーポケット表布 25×35cm、本体 c・パイピング布 25×35cm、
 本体 d 10×35cm、20cmフラットニットファスナー1本、1cm径スナップ2組

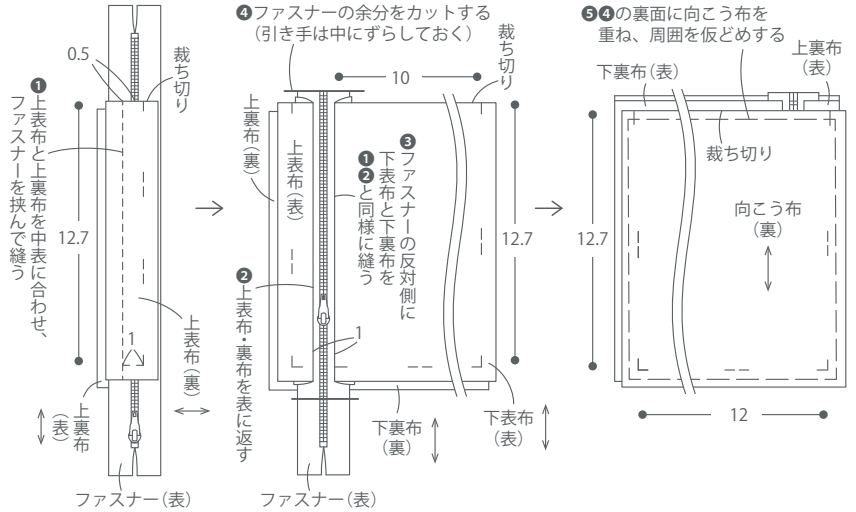
※縫い代は指定以外 0.7cmつける

1 各パーツを作ります

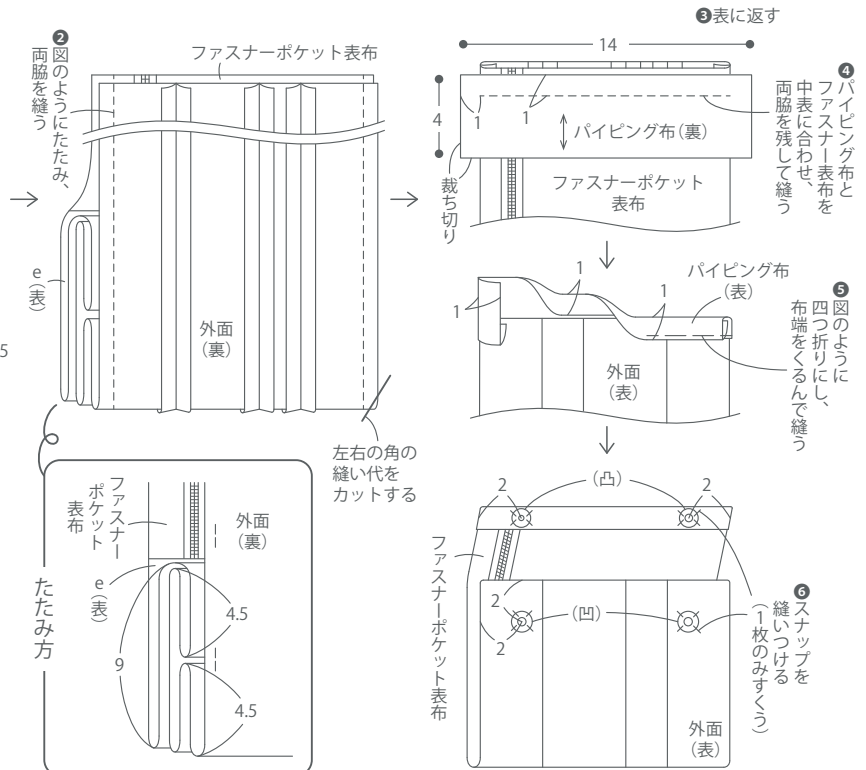
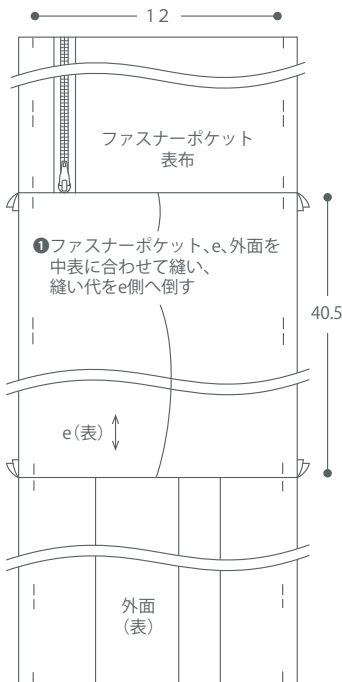
〈外面〉



〈ファスナーポケット〉



2 まとめます





3_ リボン付き紙袋風ケース

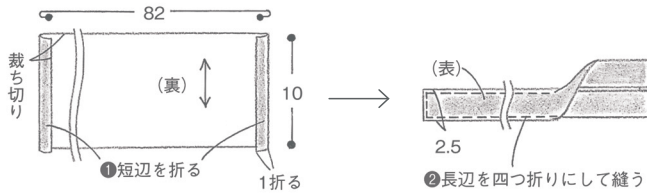
PHOTO_p.10

材料 (1個分) ---

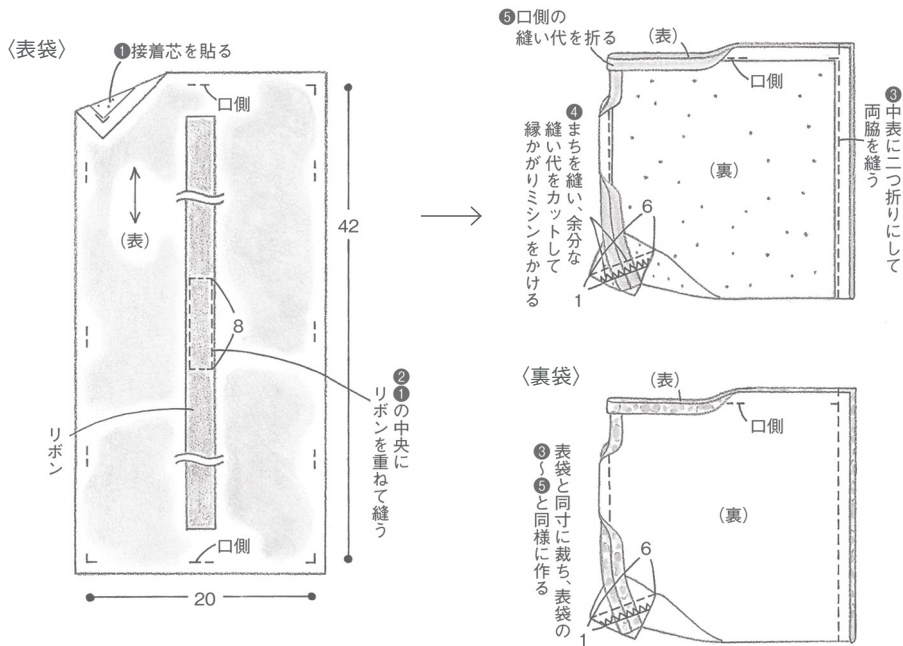
表布 30 × 50cm、裏布 30 × 50cm、リボン布 85 × 15cm、接着芯 25 × 45cm

※縫い代は指定以外 1cmつける

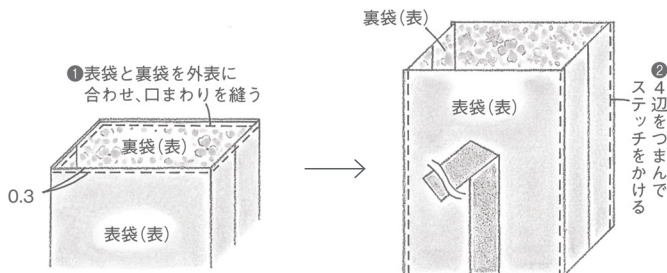
1 リボンを作ります



2 表袋と裏袋を作ります



3 まとめます





PHOTO_p.11



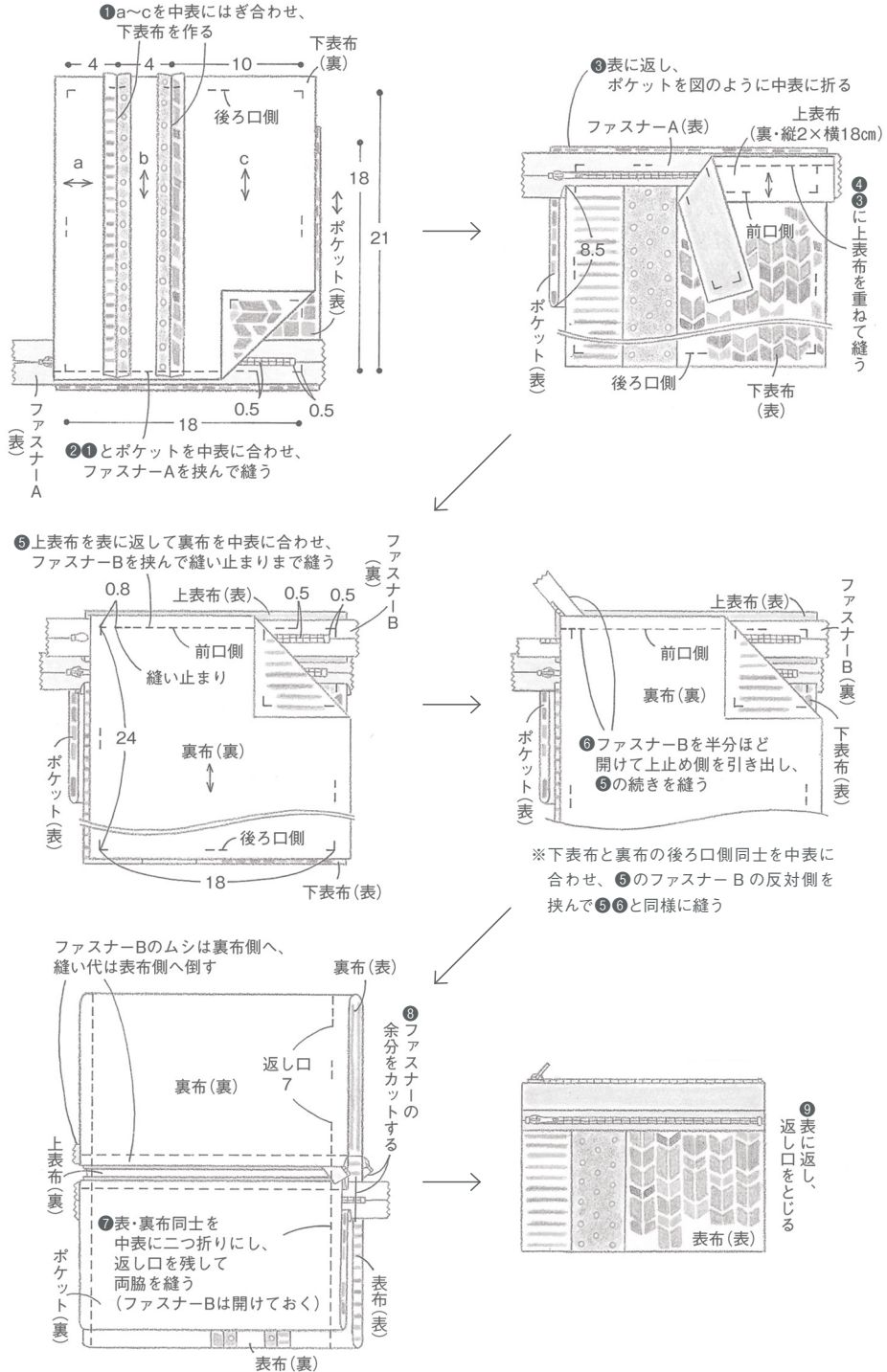
PHOTO_p.48

4_ ペたんこポーチ

材料---

下表布 a・裏布 30×40cm、下表布 b 10×30cm、下表布 c 15×30cm、上表布 25×10cm、ポケット 25cm四方、20cmフラットニットファスナー2本

※縫い代は指定以外 0.7cmつける





5_ コスメポーチ

材料 (ピンク) ---

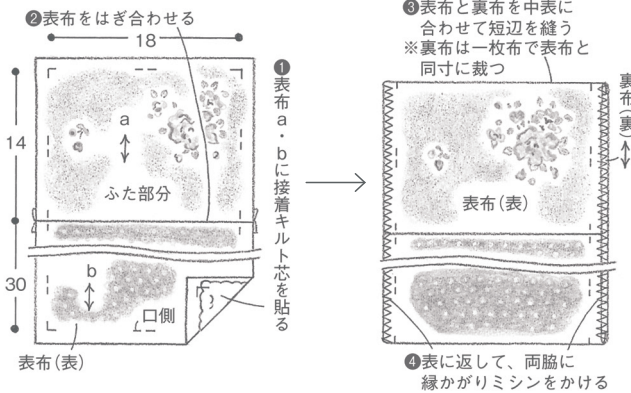
側面表布 a 25 × 20cm、側面裏布 b 25 × 35cm、側面裏布 25 × 50cm、まち・仕切り 40 × 30cm、
3.5cm幅バイアス布・ホルダーA 50 × 45cm、ホルダーB 45 × 15cm、接着キルト芯 30 × 50cm、
接着芯 45 × 15cm、1.4cm径マグネットホック (縫いつけタイプ) 1組、厚紙

PHOTO_p.12

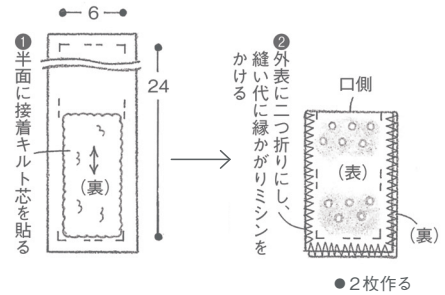
※縫い代は指定以外 0.7cmつける

1 各パーツを作ります

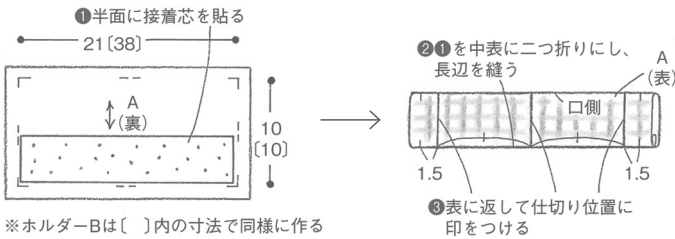
〈側面〉



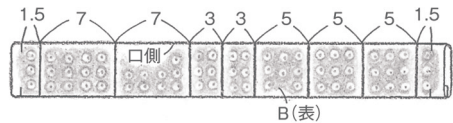
〈まち〉



〈ホルダー A・B〉

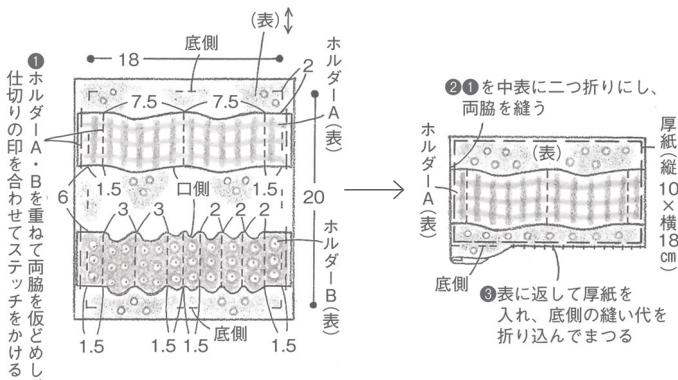


ホルダー B は下記の寸法で印をつける

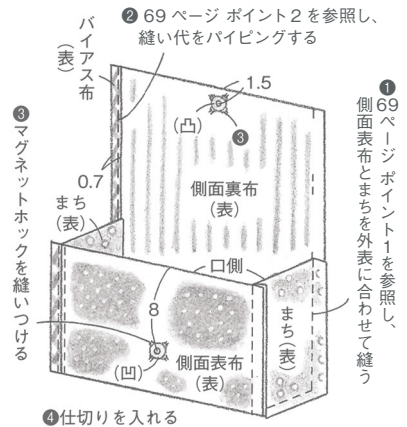


※ホルダーBは〔 〕内の寸法で同様にする

2 仕切りを作ります



3 まとめます

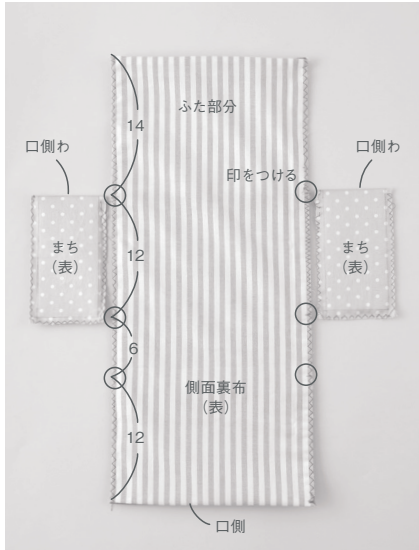


コスメポーチ — 作り方のワンポイントレッスン —

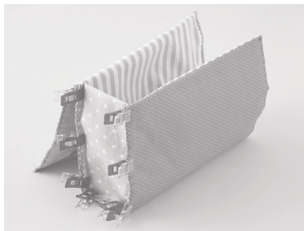
側面とまちのように立体的に縫い合わせるの、ミシンを進めにくいところ。コツをお伝えするのでしっかりマスターしましょう。

POINT 1

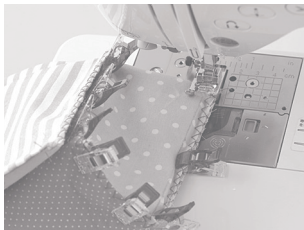
側面とまちの縫い合わせ方



1 側面のまちつけ位置に印をつけ、側面とまちを並べて、位置を確認する。正確な印つけがきれいな仕上げの第一歩。



2 印を合わせて仮止めクリップでとめる。布に厚みがあるのでまち針を打ちにくく、縫い進めるときも、まち針が手に当たって危険なので、仮止めクリップがおすすめ。



3 まちを上にして縫う。側面の角になる部分には切り込みを入れる。



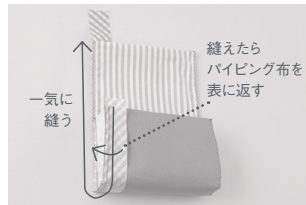
4 角と底の部分は、右手は目打ちを持ってまち布を押さえながら、左手は中から側面布を引っばって縫い込まないように注意して縫い進める。

POINT 2

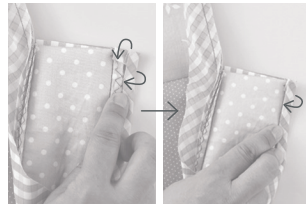
バイピングのコツ



1 バイピング布を側面と中表に合わせてソーイングクリップでとめる。とめ始めはバイピング布を1cm外に出す。



2 ポケット口からふたの端まで一気に縫う。まちを上にしてPOINT 1の3・4と同じ要領で縫う。縫い終わったらバイピング布を縫い目から表に返す。



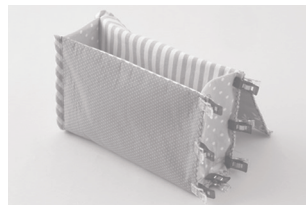
3 バイピング布の口側からはみ出た1cmを内側に折り、長辺の端は布端と突き合わせになるように折る。さらにまち側に折る。ふた側の端も口側と同様に折る。



4 そのままソーイングクリップで端までとめるが、このとき2で縫った縫い目が見えるように折ると、縫い目が目立たない。



5 目打ちでバイピング布を押さえ、バイピング布のきわに針を落としながら慎重に縫う。



6 もう一方のまちも同様に縫うが、こちら側は後ろ面から縫い始める。これまでと同じ要領で縫えばOK。



7_ ミニサイズのランチボックス

材料 (オーバル型) ---

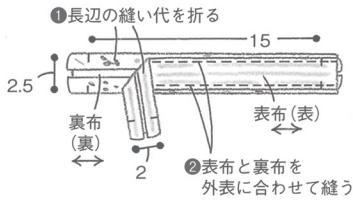
下側面表布・上面表布・底表布・後ろ中央表布・持ち手裏布・3cm幅バイピング布用ラミネート地 55 × 30cm、
上側面表布・持ち手表布・本体裏布用ラミネート地 80 × 20cm、30cmフラットニットファスナー 1本
実物大型紙 --- p.72

PHOTO_p.18

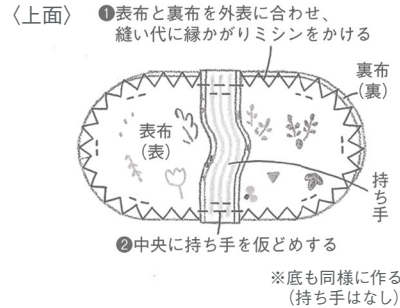
※ラミネート地の縫い方は p.71 POINT 1 を参照

※縫い代は指定以外 0.7cmつける

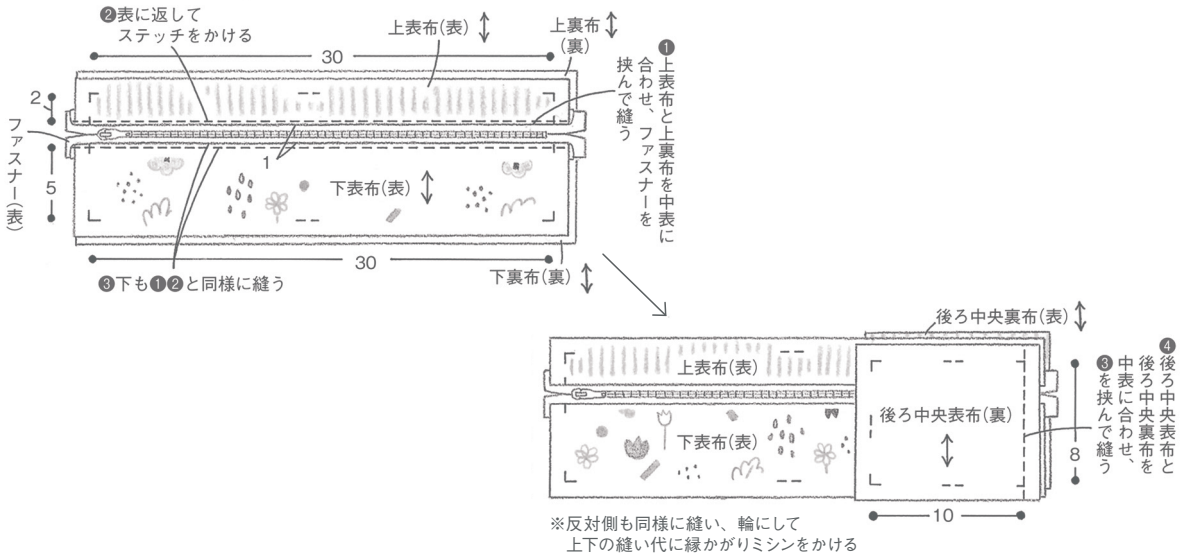
1 持ち手を作ります



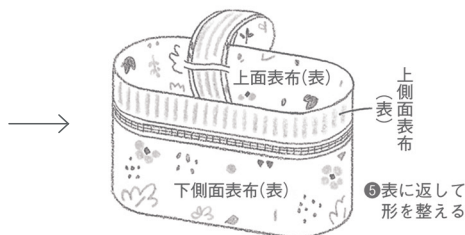
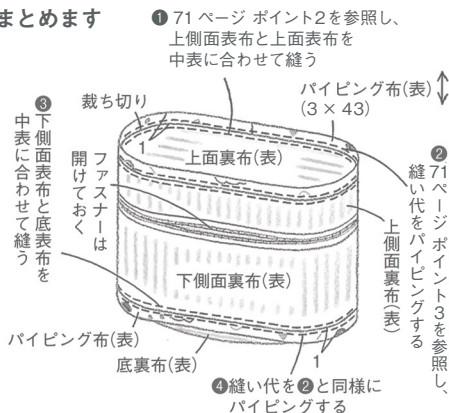
2 上面と底を作ります



3 側面を作ります



4 まとめます



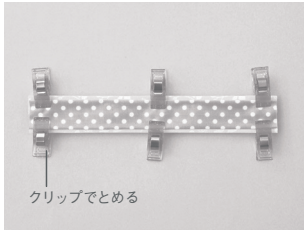
※角型ポーチの持ち手・側面の寸法はオーバル型と同寸

ミニサイズのランチボックス — 作り方のワンポイントレッスン —

作品に使用したラミネート地はつやなしタイプ。つやなしだとそのままでもミシンで縫えますが、光沢のあるラミネート地を使用する場合は、専用の押さえを使うか、紙を重ねて縫いましょう。

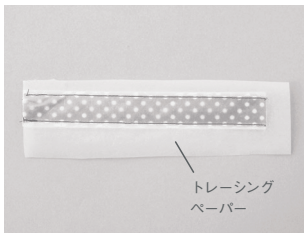
POINT 1

ラミネート地の縫い方



1

まち針を打てない、アイロンをかけられないラミネート素材は、指でしっかり折り目をつけて、クリップで仮どめする。

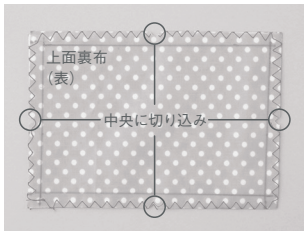


2

専用のテフロン押さえが付属しているミシンもあるが、そうでない場合はトレーシングペーパーや半紙を重ねると縫いやすい。

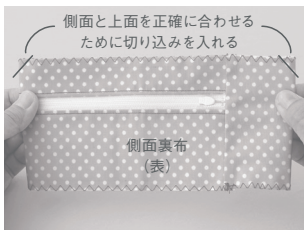
POINT 2

側面と上面の縫いつけ方



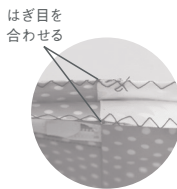
1

上面の各辺の中央に切り込みを入れる。



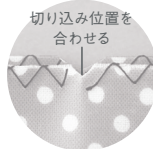
2

側面表布を中表にしてはぎ目を合わせ(円写真)、両端に切り込みを入れる。



3

最初の切り込みの位置に合わせて折り、両端に切り込みを入れる。



4

側面表布と上面表布の切り込みの位置を合わせてクリップでとめる。上面の角と合う側面位置に切り込みを入れる。



5

上面を見ながら縫う。立体と平面を合わせるのは縫いにくいですが、これから縫う辺が押さえに平行になっていることを意識すると、まっすぐに縫いやすい。



POINT 3

パイピングのコツ



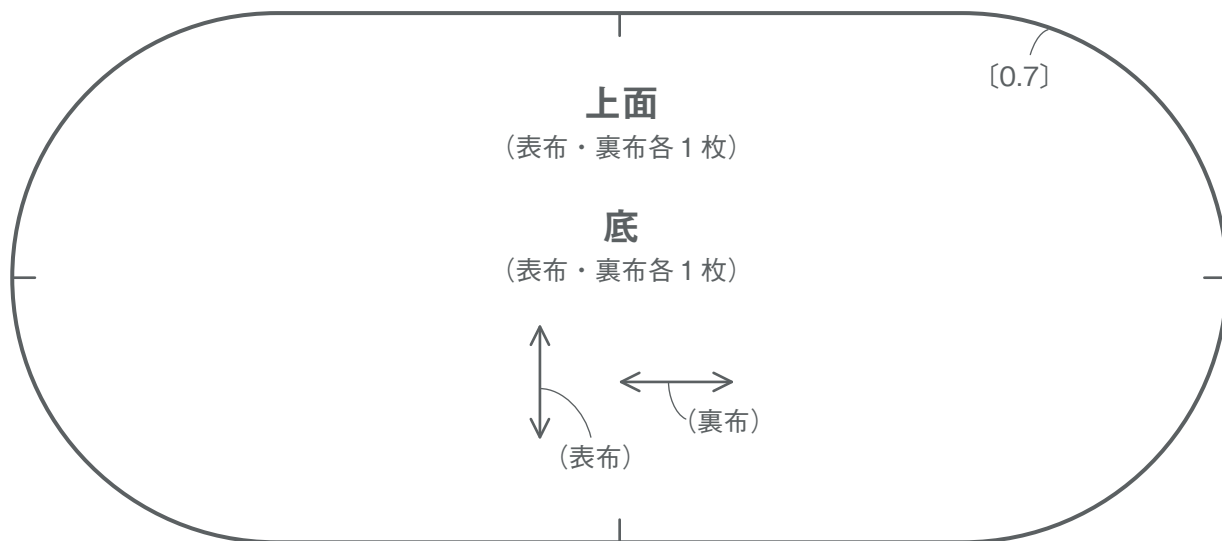
アイロンをかけられないので、縫ったあとパイピング布を持ち上げるときはしっかり布を引っ張ることがコツ。ほつれないので、内側の布端は折り込まなくていい。角にしわが寄るが、ラミネート布の特性なので気にしなくてOK。

【実物大型紙】

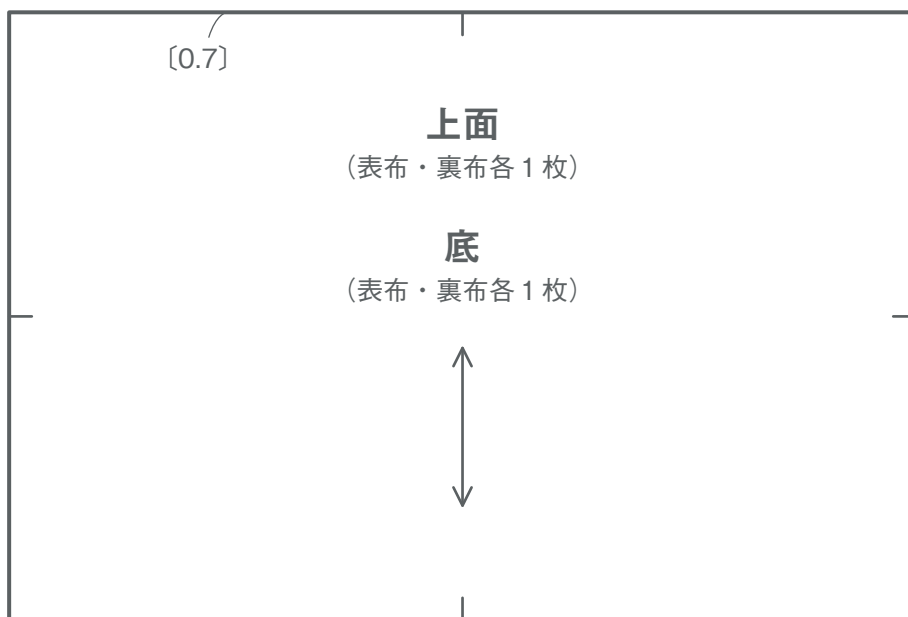
p.70_ ミニサイズのランチボックス

※ [] 内は縫い代の寸法

オーバル型



角型





8 四角とまるのハンドルポーチ

材料 (四角) ---

側面表布 a 15 × 20cm、側面表布 b・まち表布 35 × 20cm、裏布 35 × 30cm、持ち手 15 × 25cm、

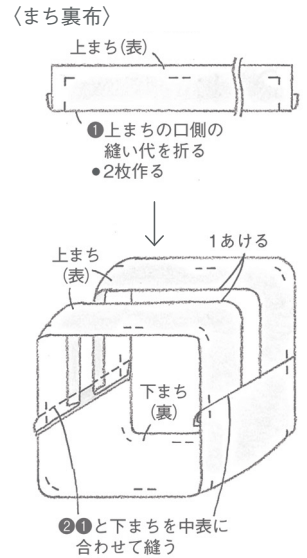
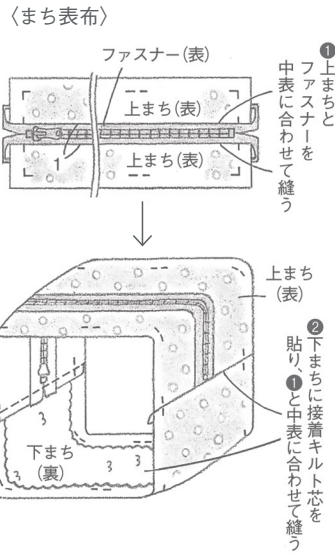
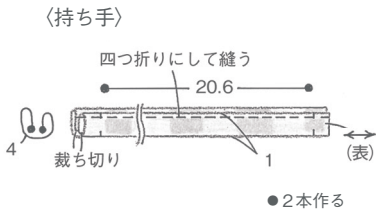
接着キルト芯 20 × 25cm、20cmフラットニットファスナー 1本

実物大型紙 --- p.74-75

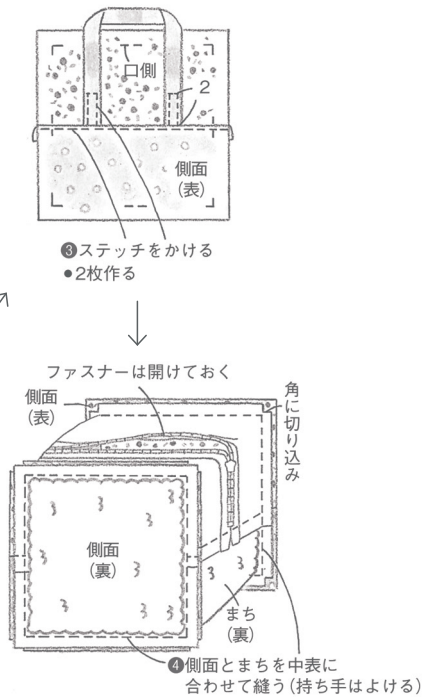
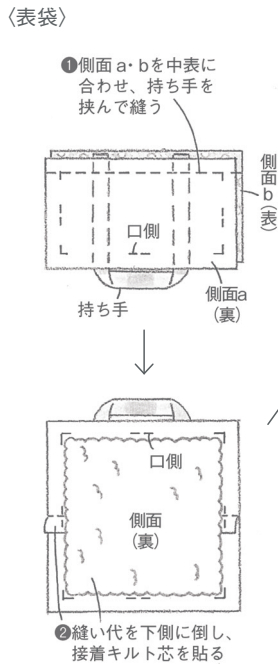
PHOTO_p.20

※縫い代は指定以外 0.7cmつける

1 各パーツを作ります

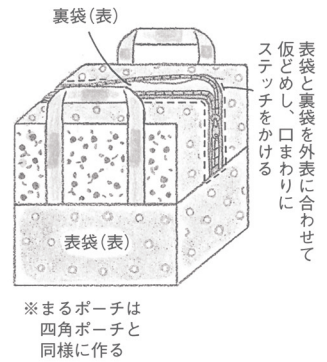


2 表袋と裏袋を作ります



※裏袋は表袋の①と同様に縫う

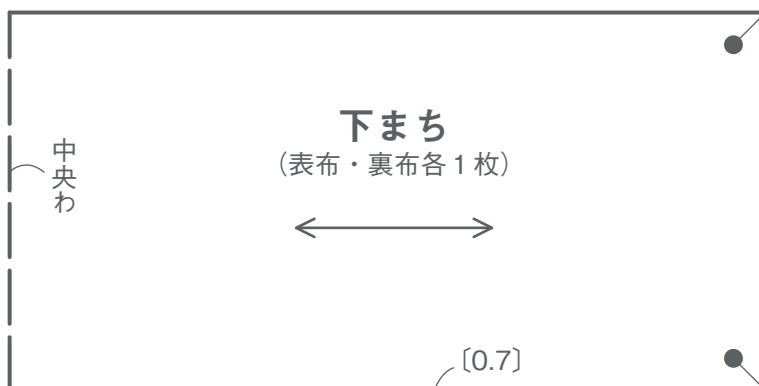
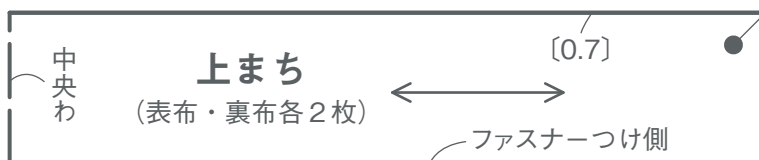
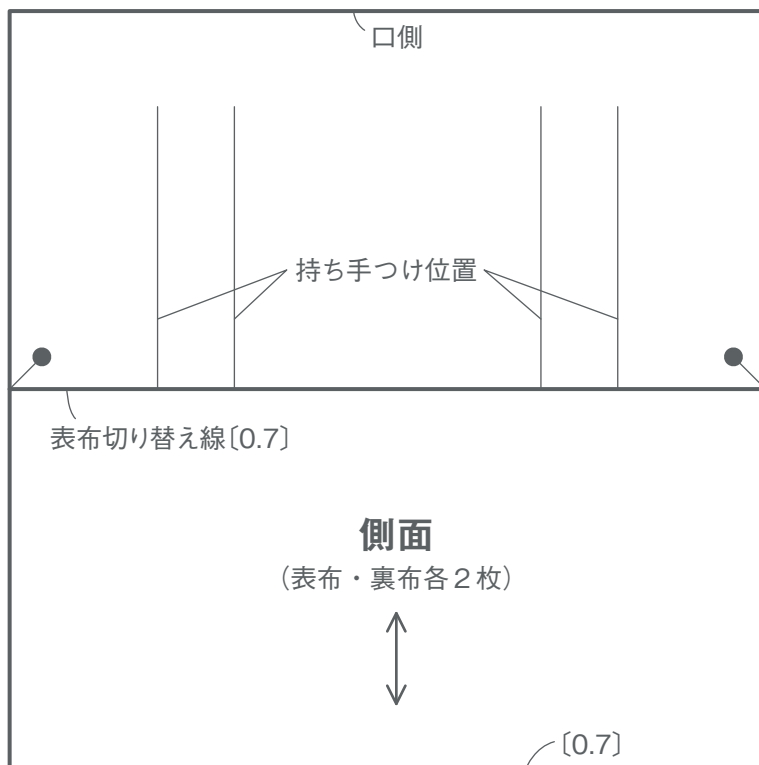
3 まとめます



【実物大型紙】

p.73_ 四角のハンドルポーチ

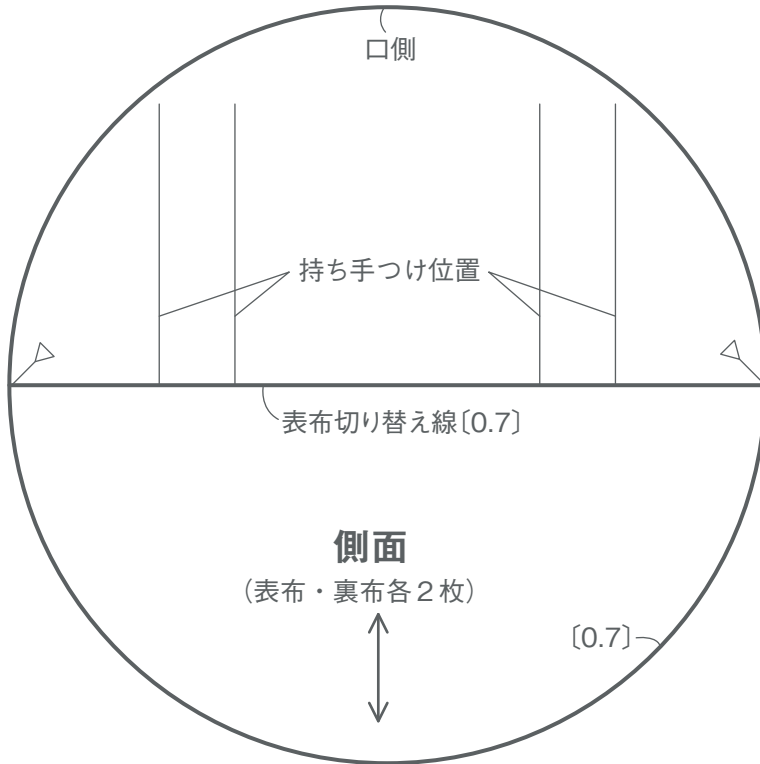
※ [] 内は縫い代の寸法

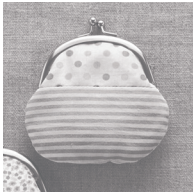


【実物大型紙】

p.73_ まるのハンドルポーチ

※ [] 内は縫い代の寸法





9_ カラフルコンビがま口

材料 (1個分) ---

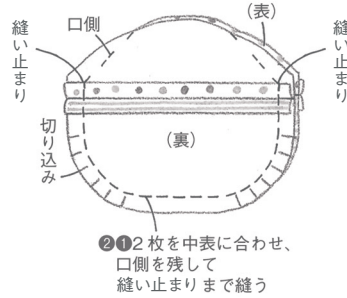
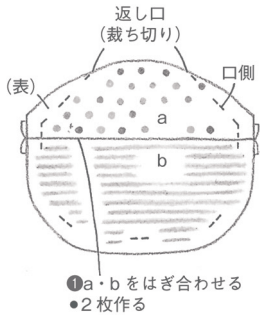
表布 a 15 × 20cm、表布 b 15 × 20cm、裏布 30 × 15cm、8cm幅×高さ4cmカン付き口金、紙ひも
実物大型紙 --- p.85

PHOTO_p.21

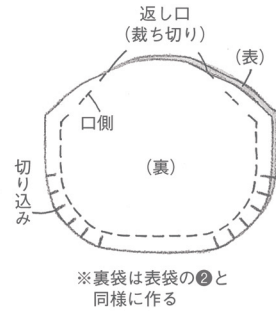
※縫い代は指定以外 0.7cmつける

1 表袋と裏袋を作ります

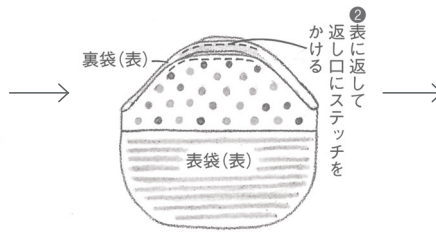
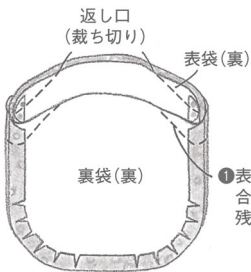
〈表袋〉



〈裏袋〉



2 まとめます





PHOTO_p.26

11_ ミニソーイングケース

材料---

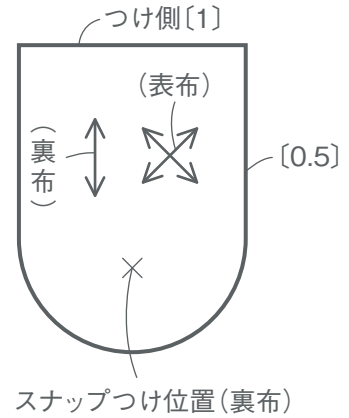
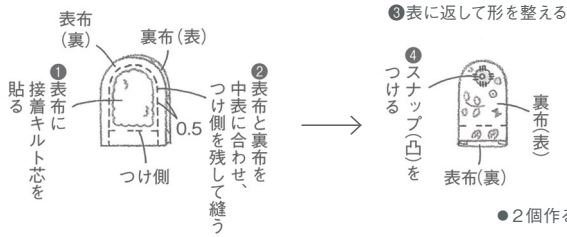
本体表布 a 35 × 20cm、本体表布 b 15 × 20cm、本体表布 c 35 × 20cm、本体裏布 35 × 20cm、フラップ表布 15cm四方、フラップ裏布 15cm四方、接着キルト芯 30 × 20cm、1.2cm径スナップ2組、ビニールシート、わた

※縫い代は指定以外1cmつける

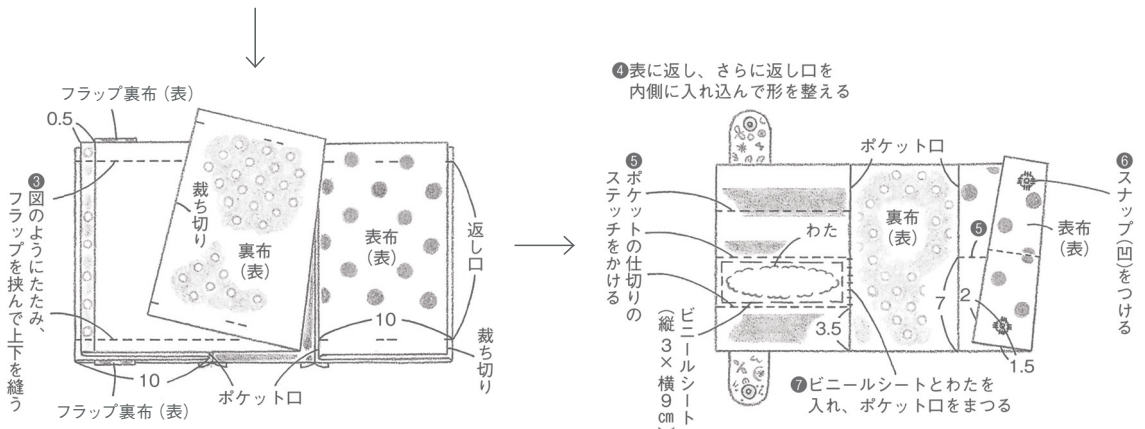
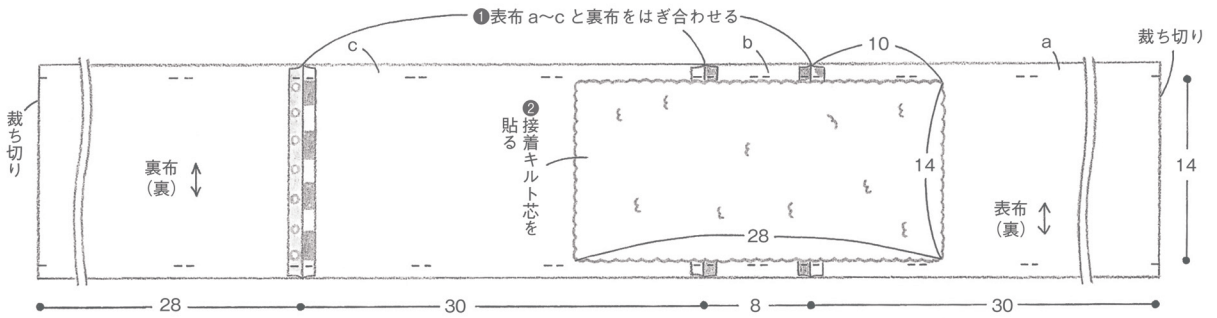
【実物大型紙】

1 フラップを作ります

フラップ (表布・裏布各2枚)



2 本体を作り、まとめます





10_ チューブポーチ

材料 (小) ---

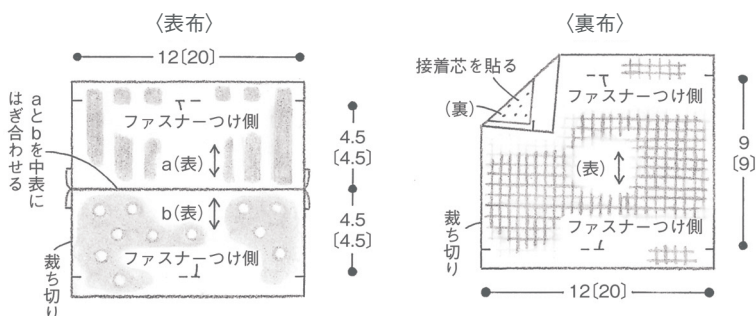
表布 a 15 × 10cm、表布 b 15 × 10cm、裏布・バイアス布 30 × 20cm、接着芯 15cm 四方、1.1cm 幅テープ 10cm、20cm フラットニットファスナー1本

PHOTO_p.22

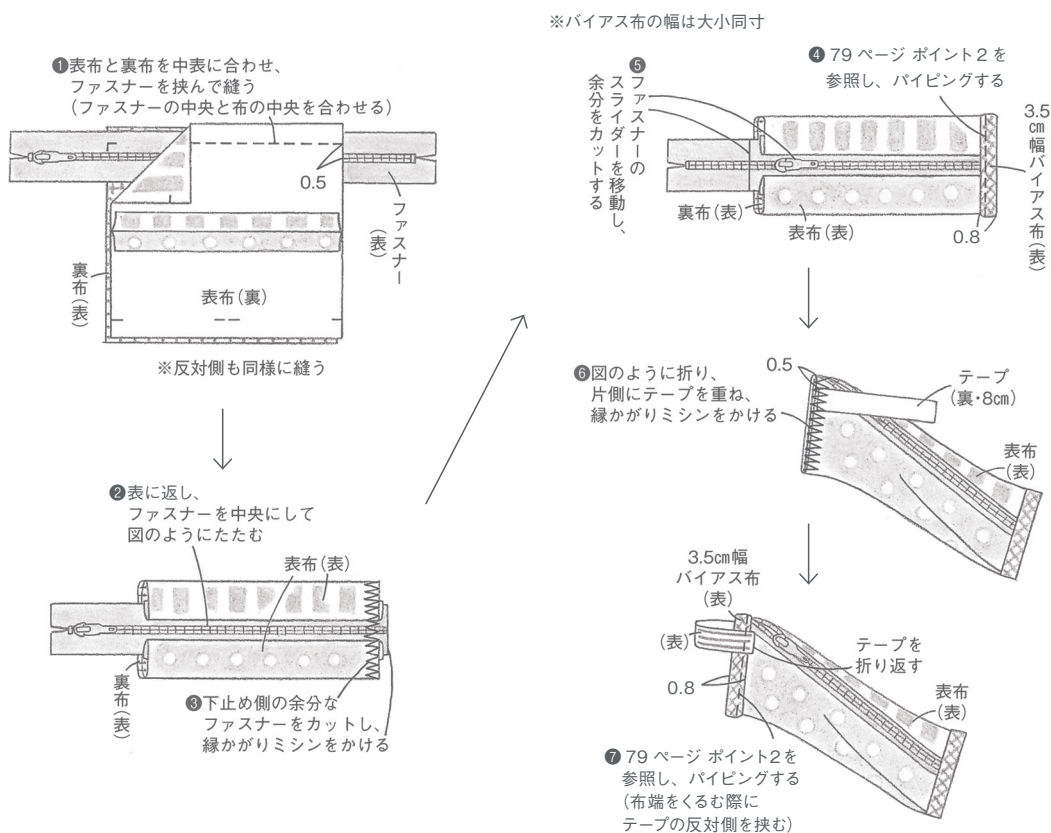
※縫い代は指定以外 0.7cm つける

※ [] 内は寸法の

1 表布と裏布を作ります



2 まとめます

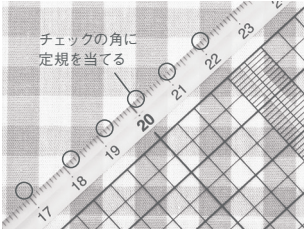


チューブポーチ — 作り方のワンポイントレッスン —

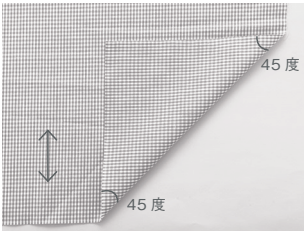
作品の色や柄などに合わせ、手作りでバイアス布を作っても。
バイアス布の作り方と、布端処理のポイントをご紹介しますので参考にしてください。

POINT 1

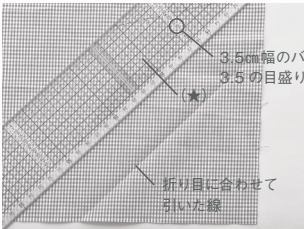
バイアス布の裁ち方



1 布目に対し45度で裁つバイアス布。初心者におすすめなのはチェックの布。チェックの角を通るように定規を当てれば、簡単に45度の線が引ける。



2 1のような線の引き方ができない布は、布目に対し、45度に折って折り目をつける。



3 折り目に合わせて線を引き、その線と定規の方眼線に合わせて次の線を引く(★)。

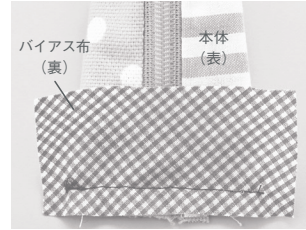


4 ありがちな失敗は、線を引くときに強くペンを引きすぎてしまうこと(上)。バイアスの布目は伸びやすいので、強く引くと布目がゆがんでしまう。左手でしっかり定規を押さえ引けば、強く引かなくてもきちんと線を描ける(下)。



POINT 2

バイピングの布端の処理のコツ



1 最初にバイアス布を本体と中表に合わせて縫う。次に表に返し、両脇にはみ出た部分を布端が出ないようにきれいに折り込む。



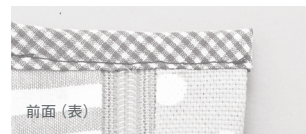
2 コツは布端を折り込む際、下側の布端が縫い目より少し上にくるようにすること(左)。布端を押さえたまま、上側まで折り目をつける(右)。



3 押さえたままバイピング布の上端を本体の布端と突き合わせになるように折る。



4 そのまま本体の布端をくるむように折り、仮どめクリップで挟んで固定しておく。



5 1で縫った縫い目がギリギリ隠れる状態で、バイアス布の折り山から約0.1cm上を縫えば(上)、反対側も同じ位置を縫えている。布端の処理もきれいにできている。





PHOTO_p.28

PHOTO_p.50

12_ パクパク銅つかみ

材料 (1個分) ---

表布 20 × 25cm、裏布・ポケットb 50 × 30cm、ポケットa 20cm四方、

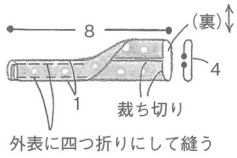
キルト芯 35 × 25cm、タブ布 10cm四方

実物大型紙 --- p.81

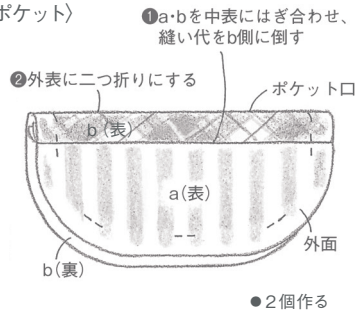
※縫い代は指定以外1cmつける

1 各パーツを作ります

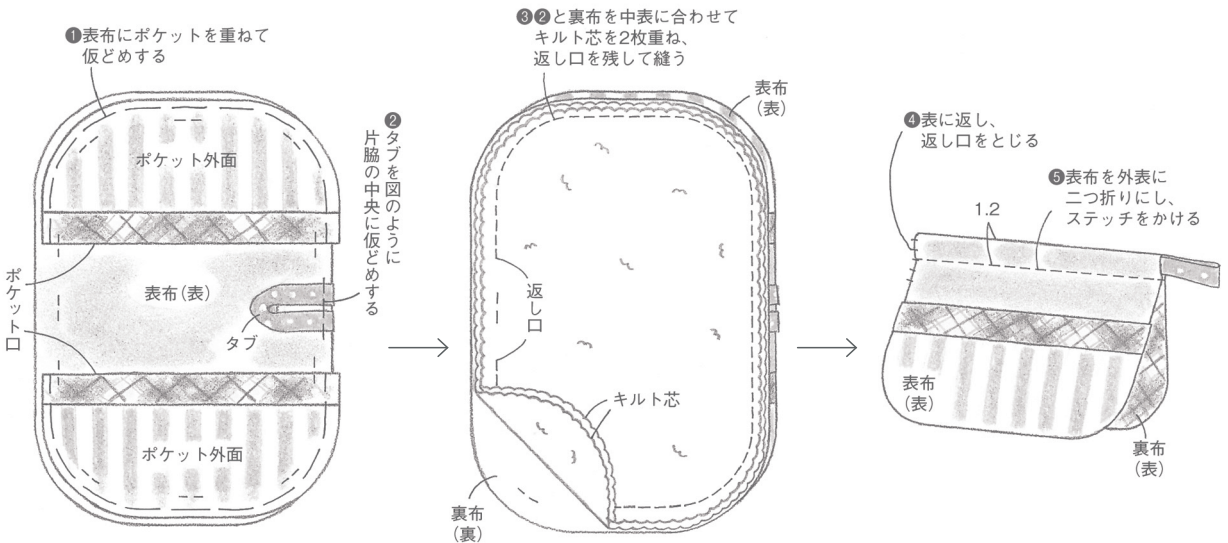
〈タブ〉



〈ポケット〉

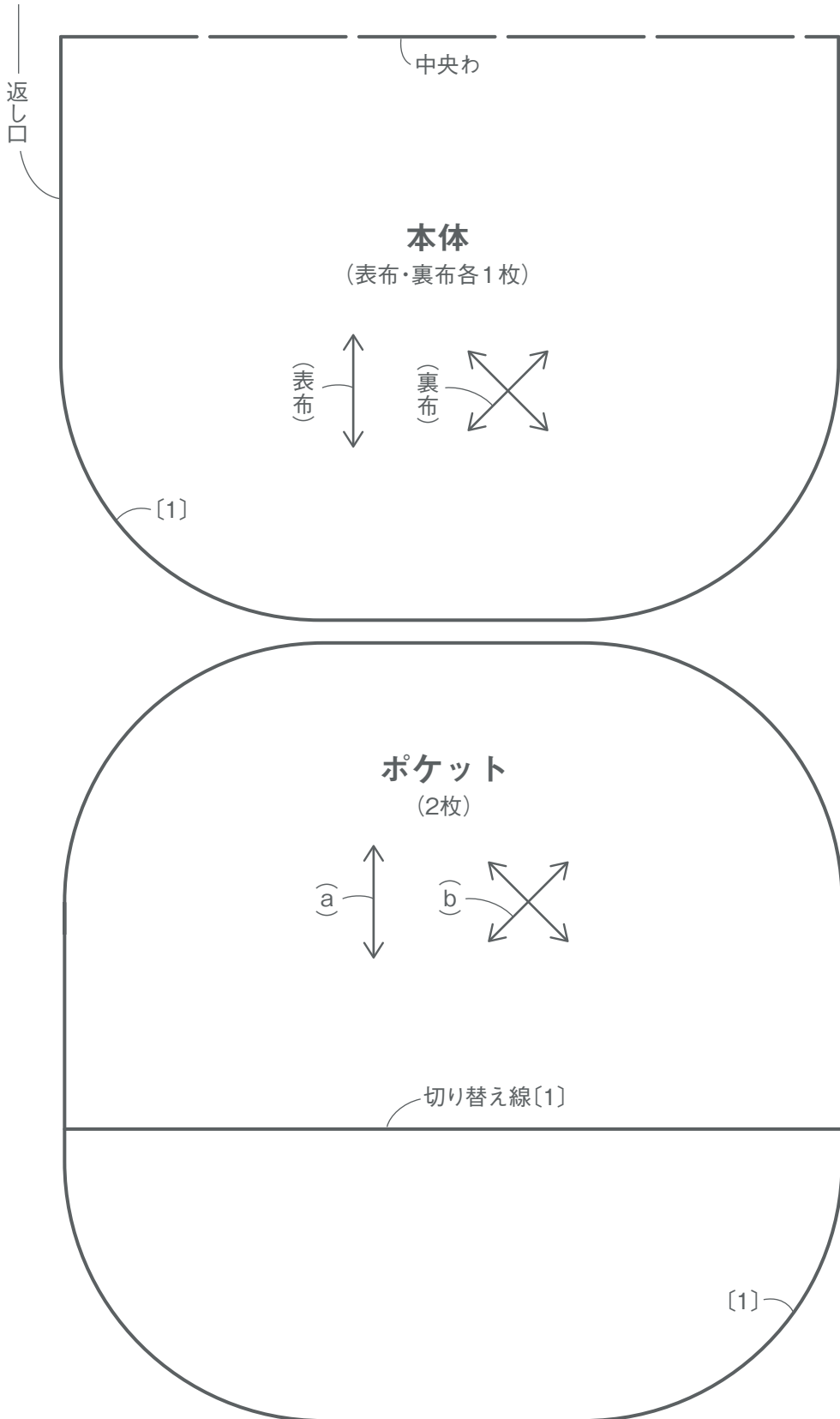


2 本体を作り、まとめます



【実物大型紙】

p.80_ パクパク銅つかみ ※〔 〕内は縫い代の寸法





PHOTO_p.29

PHOTO_p.50

13_ スクエアポーチ

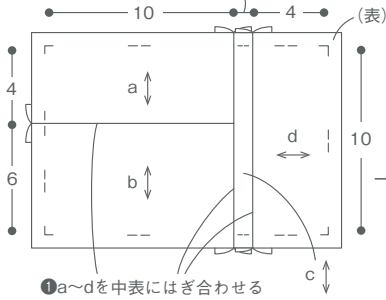
材料 ---

表布 a・表布 e・3.5cm バイアス布 55 × 45cm、表布 b・表布 f・持ち手 30 × 20cm、
表布 c・表布 g 25cm 四方、表布 d・表布 h 30 × 15cm、まち表布 35 × 25cm、
タブ布 15cm 四方、裏布 40cm 四方、接着キルト芯 35 × 30cm、
30cm フラットニットファスナー1本

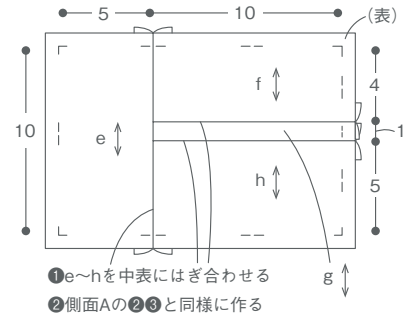
※縫い代は指定以外 0.7cm つける

1 各パーツを作ります

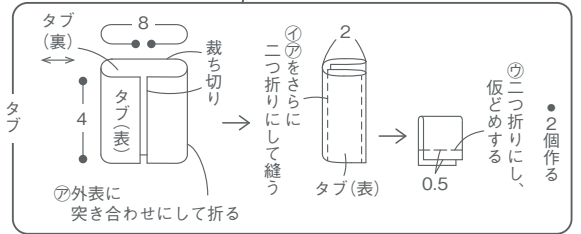
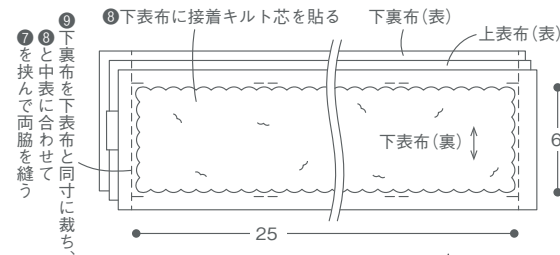
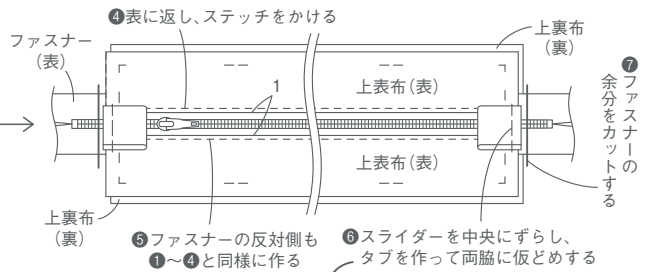
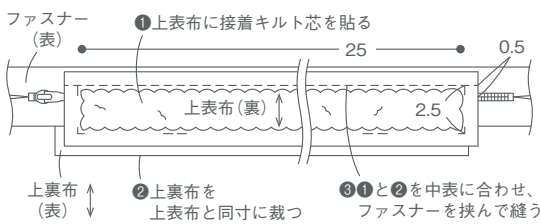
〈側面 A〉



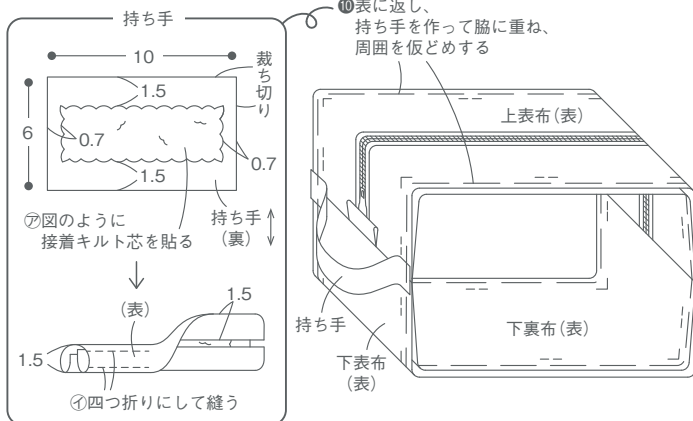
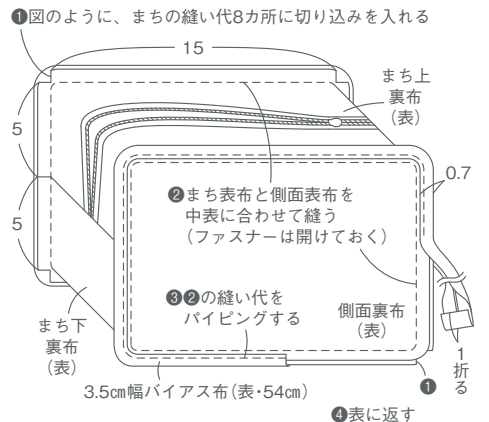
〈側面 B〉



〈まち〉



2 まとめます





PHOTO_p.31

PHOTO_p.49

15_ トートバッグ型ポーチ

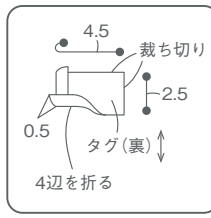
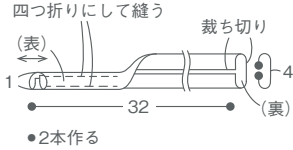
材料 ---

表布 a 25cm 四方、表布 b・持ち手 35 × 40cm、フラップ 20 × 25cm、
裏布 25 × 30cm、タグ布 10cm 四方、接着キルト芯 40 × 30cm

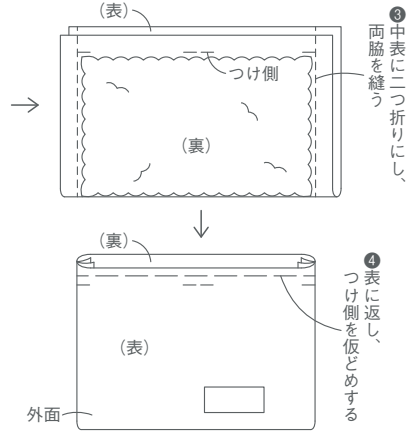
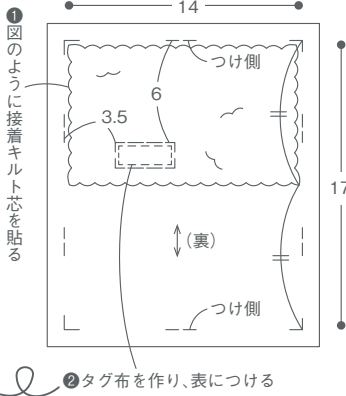
※縫い代は指定以外 1cm つける

1 各パーツを作ります

〈持ち手〉

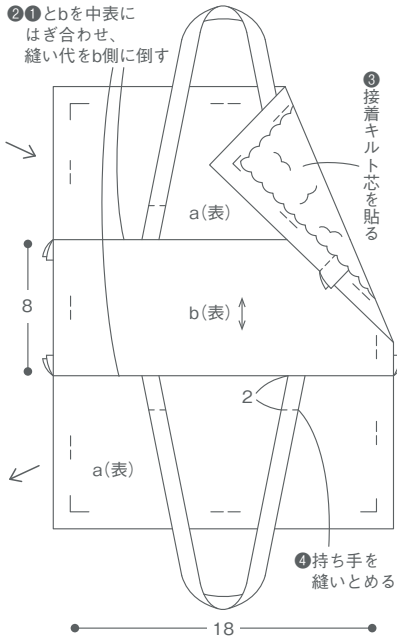
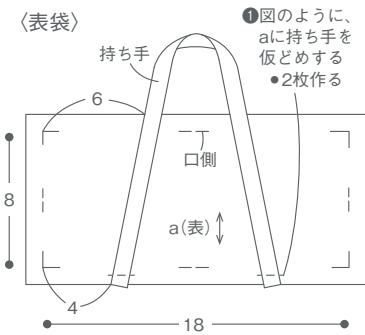


〈フラップ〉

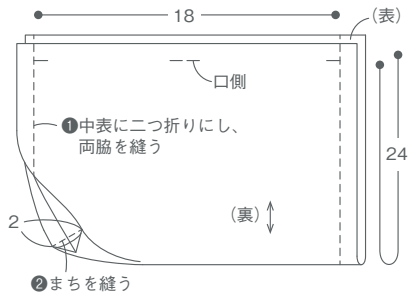


2 表袋と裏袋を作ります

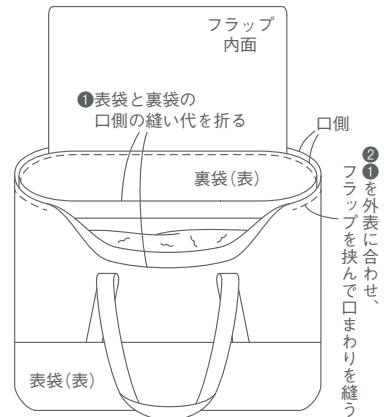
〈表袋〉



〈裏袋〉



3 まとめます





14_ オーバル型のミニトートバッグ

材料 (1個分) ---

側面表布 35 × 15cm、まち表布 25 × 20cm、外ポケット 10 × 15cm、持ち手・バイアス布 55 × 40cm、裏布 40 × 30cm、接着キルト芯 30 × 25cm、20cmフラットニットファスナー 1本

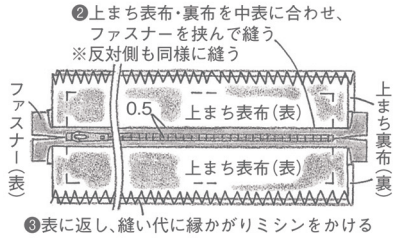
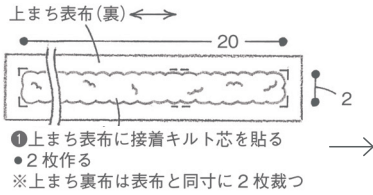
実物大型紙 --- p.85

PHOTO_p.30

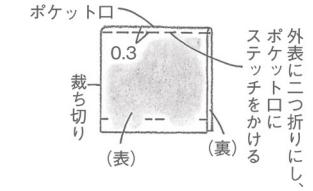
※縫い代は指定以外 0.7cmつける

1 各パーツを作ります

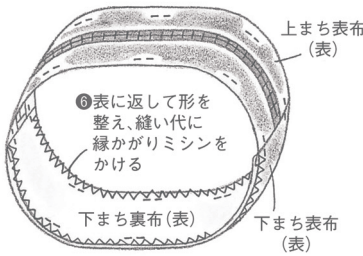
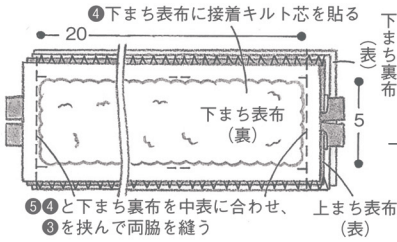
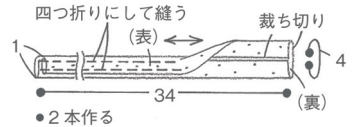
〈まち〉



〈外ポケット〉

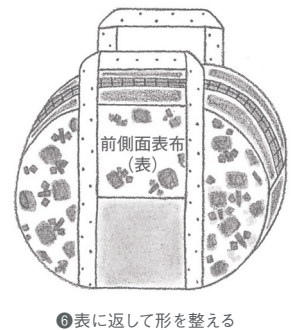
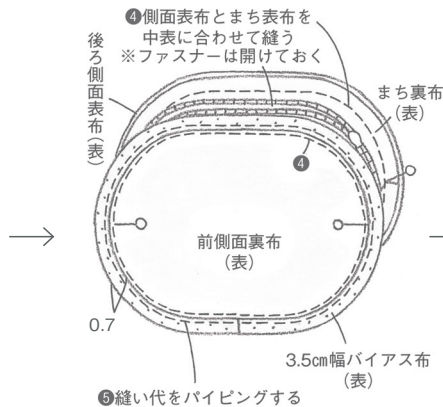
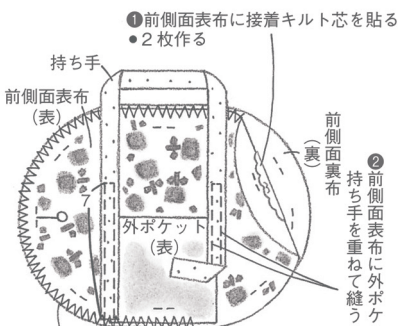


〈持ち手〉



※下まち裏布は
下まち表布と同寸にカット

2 側面を作り、まとめます

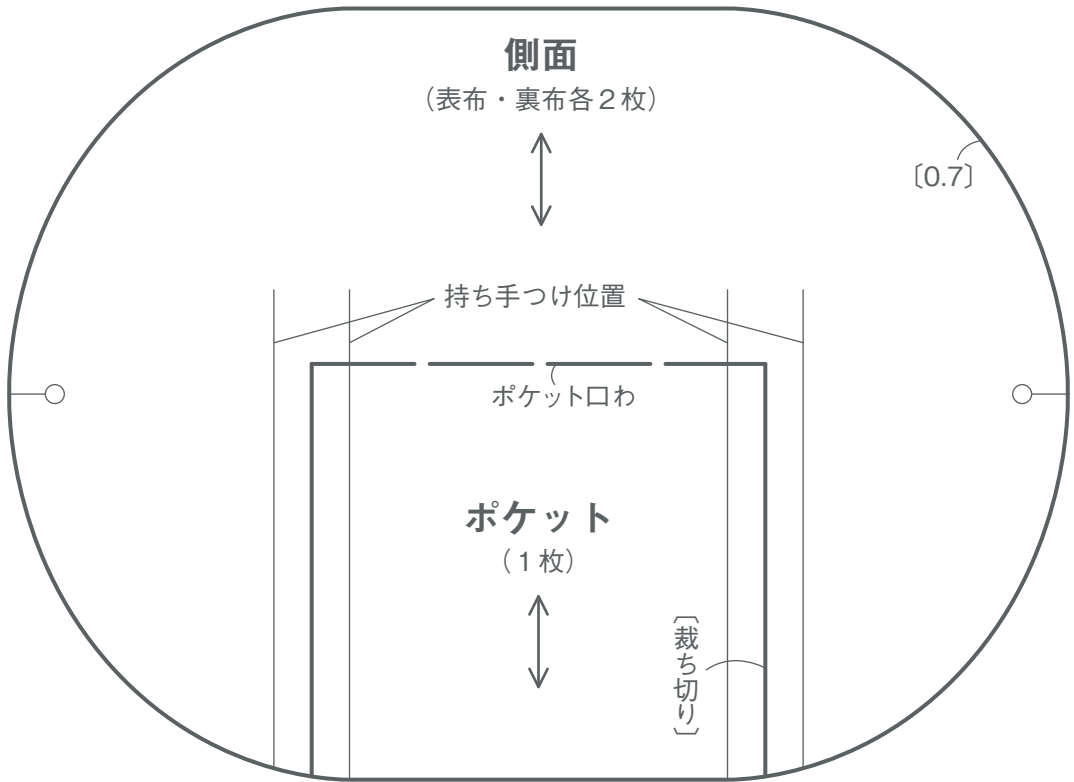


※後ろ側面も同様に作る
(ポケットはなし)

【実物大型紙】

p.84_ オーバル型のミニトートバッグ

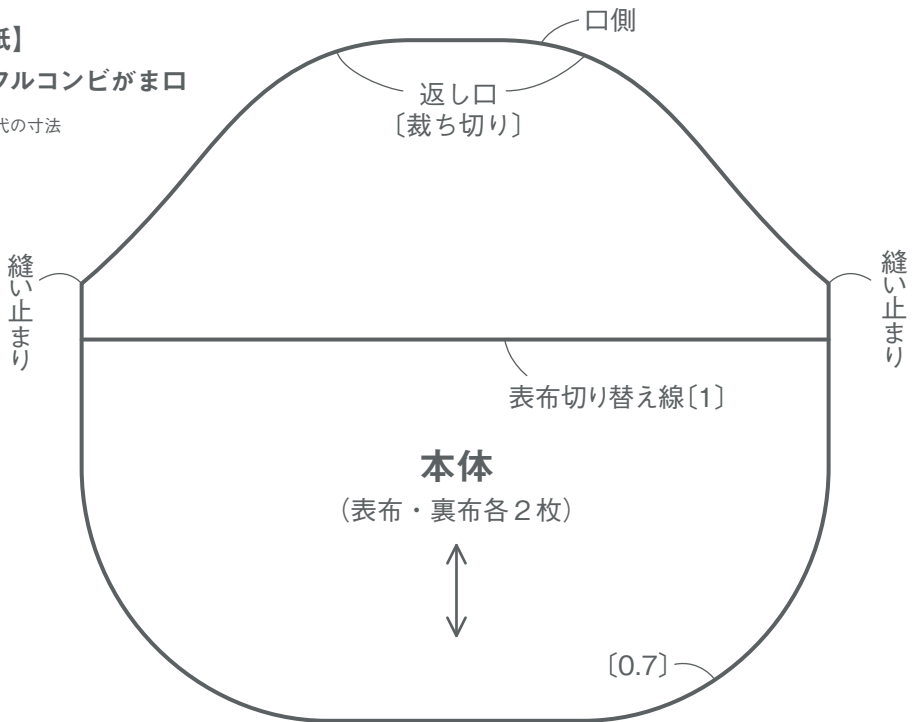
※〔 〕内は縫い代の寸法



【実物大型紙】

p.76_ カラフルコンビがま口

※〔 〕内は縫い代の寸法





18_ ファブリックボックス

材料---

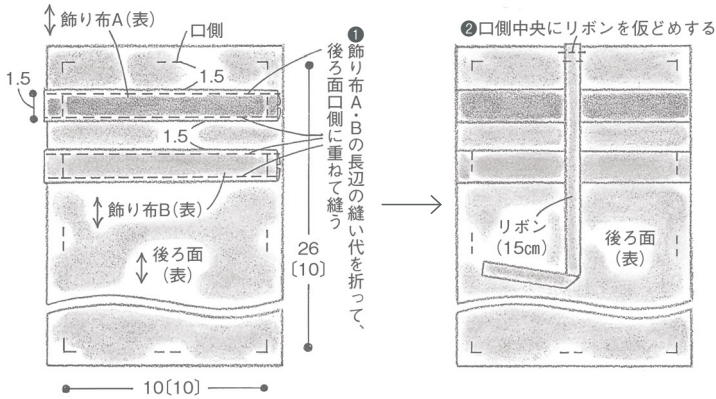
前面・側面・後ろ面 40 × 30cm、底 20 × 15cm、飾り布A 15 × 5cm、飾り布B 15 × 5cm、
接着キルト芯 35 × 20cm、0.7cm幅リボン 30cm

PHOTO_p.37

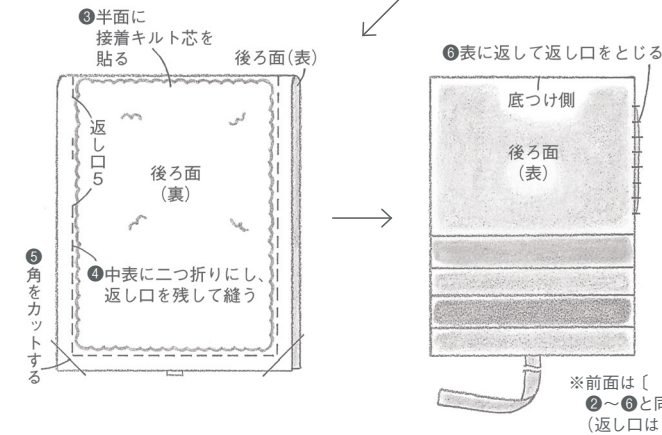
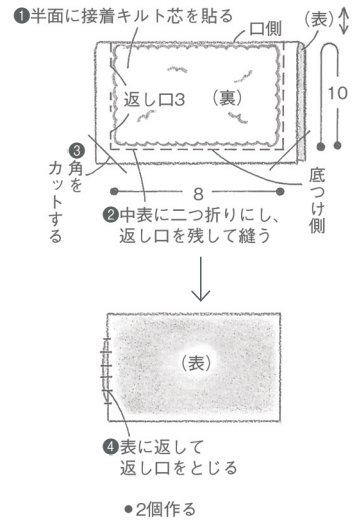
※縫い代は0.7cmつける

1 各パーツを作ります

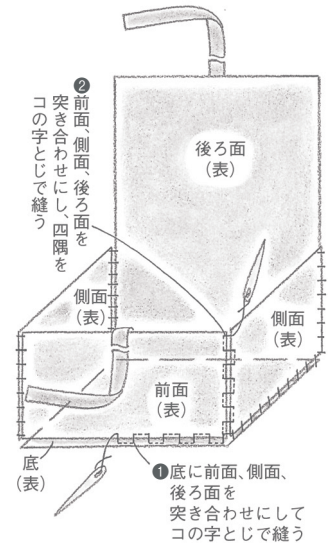
〈後ろ面・前面〉



〈側面〉



2 まとめます





16_ 丸のプレゼントボックス

材料---

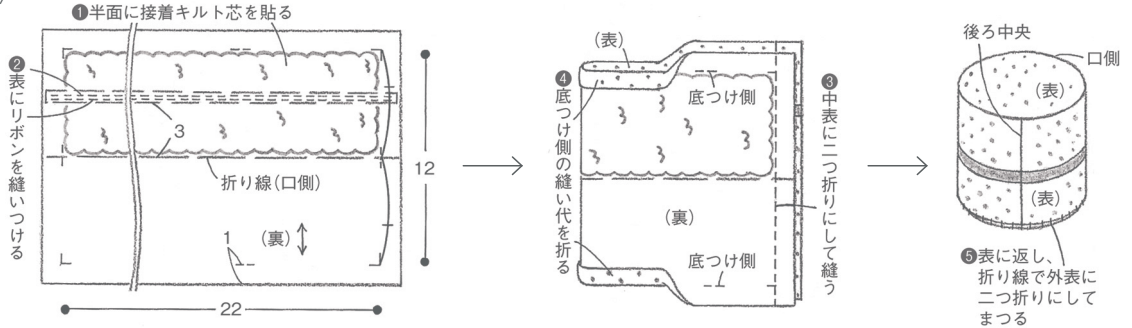
天面表布・外底 25 × 15cm、側面・つなぎ布・天面裏布・内底 30cm四方、布飾り用布3種各10cm四方、
接着キルト芯 25 × 10cm、0.5cm幅リボン 60cm、18cmファスナー1本、ワイヤー 15cm、わた、厚紙

PHOTO_p.34

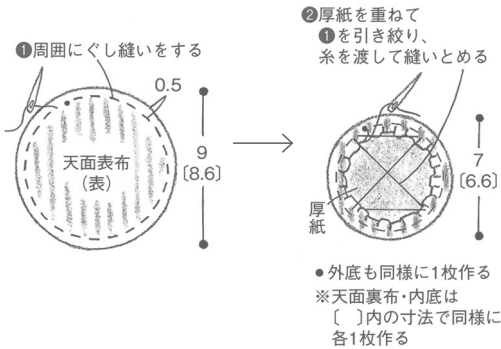
※縫い代は指定以外裁ち切り

1 各パーツを作ります

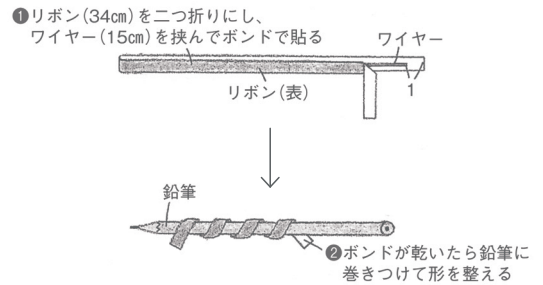
〈側面〉



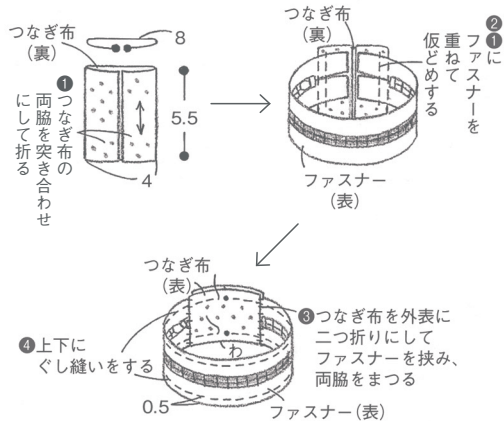
〈天面・底〉



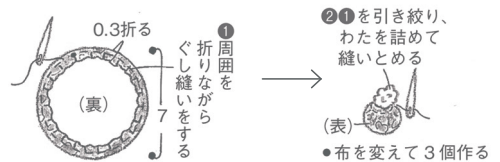
〈リボン飾り〉



〈ファスナー〉

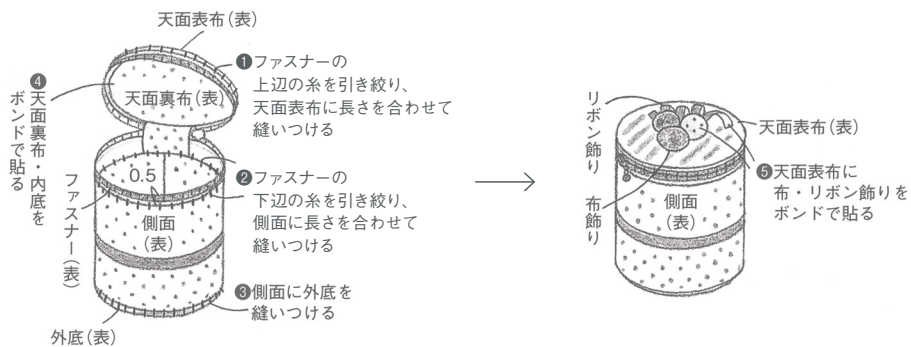


〈布飾り〉



作り方は p.88 に続きます➡

2 まとめます



PHOTO_p.36

PHOTO_p.49

17_ アクセサリーケース

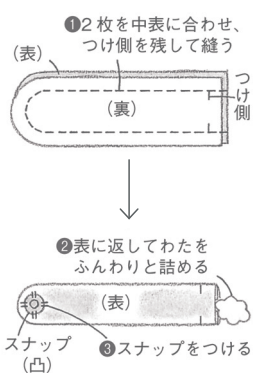
材料 ---

外面 a・ポケット表布・ポケット裏布・飾り布 45 × 15cm、外面 b 15cm 四方、
内面 15 × 20cm、リング通し 15cm 四方、接着キルト芯 15cm 四方、0.5cm 幅リボン 50cm、
1cm 径スナップ 1組、15cm フラットニットファスナー 1本、1cm 径ハトメ 1組、わた
実物大型紙 --- p.90

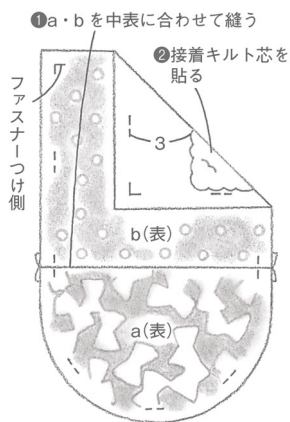
※縫い代は指定以外 0.7cm つける

1 各パーツを作ります

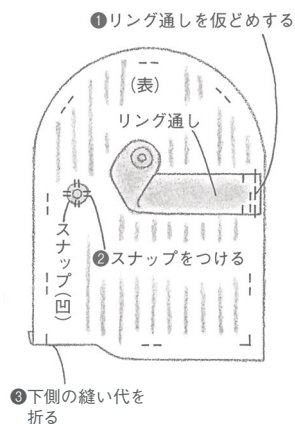
〈リング通し〉



〈外面〉



〈内面〉

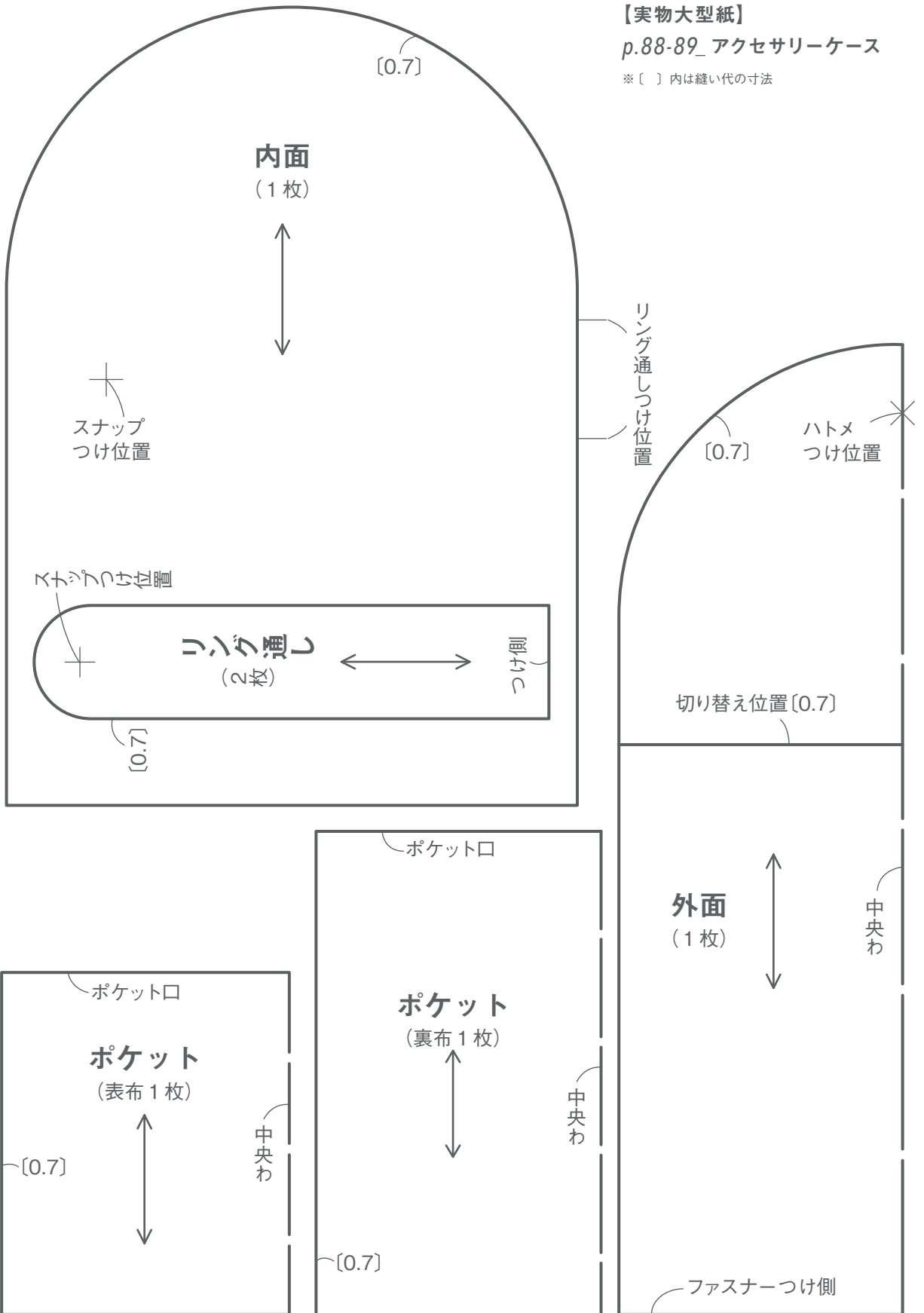


作り方は p.89 に続きます→

【実物大型紙】

p.88-89_ アクセサリーケース

※〔 〕内は縫い代の寸法





20_エコバッグ

材料---

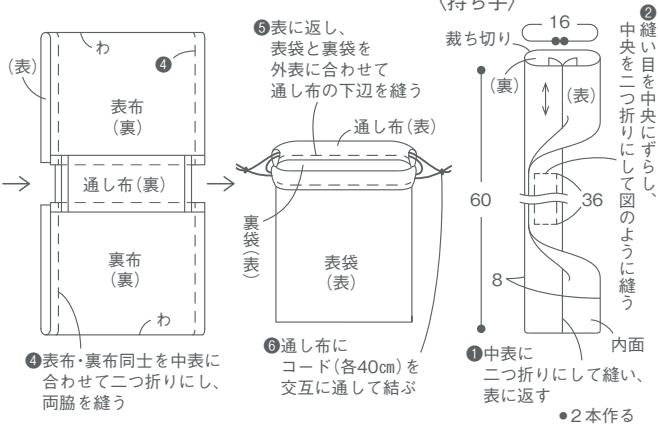
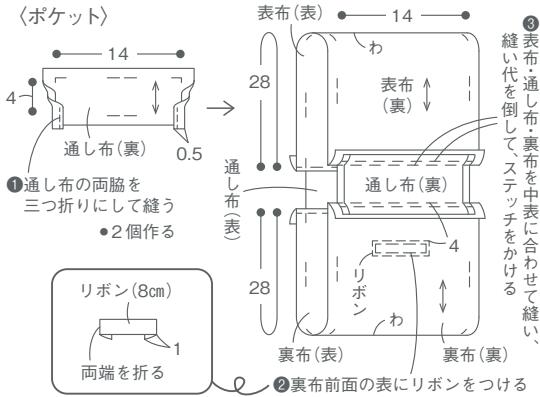
本体・ポケット表布・ポケット裏布・口布 110cm幅×90cm、持ち手・ポケット通し布 60×65cm、1.6cm幅リボン 15cm、0.1cm径コード 80cm

PHOTO_p.40

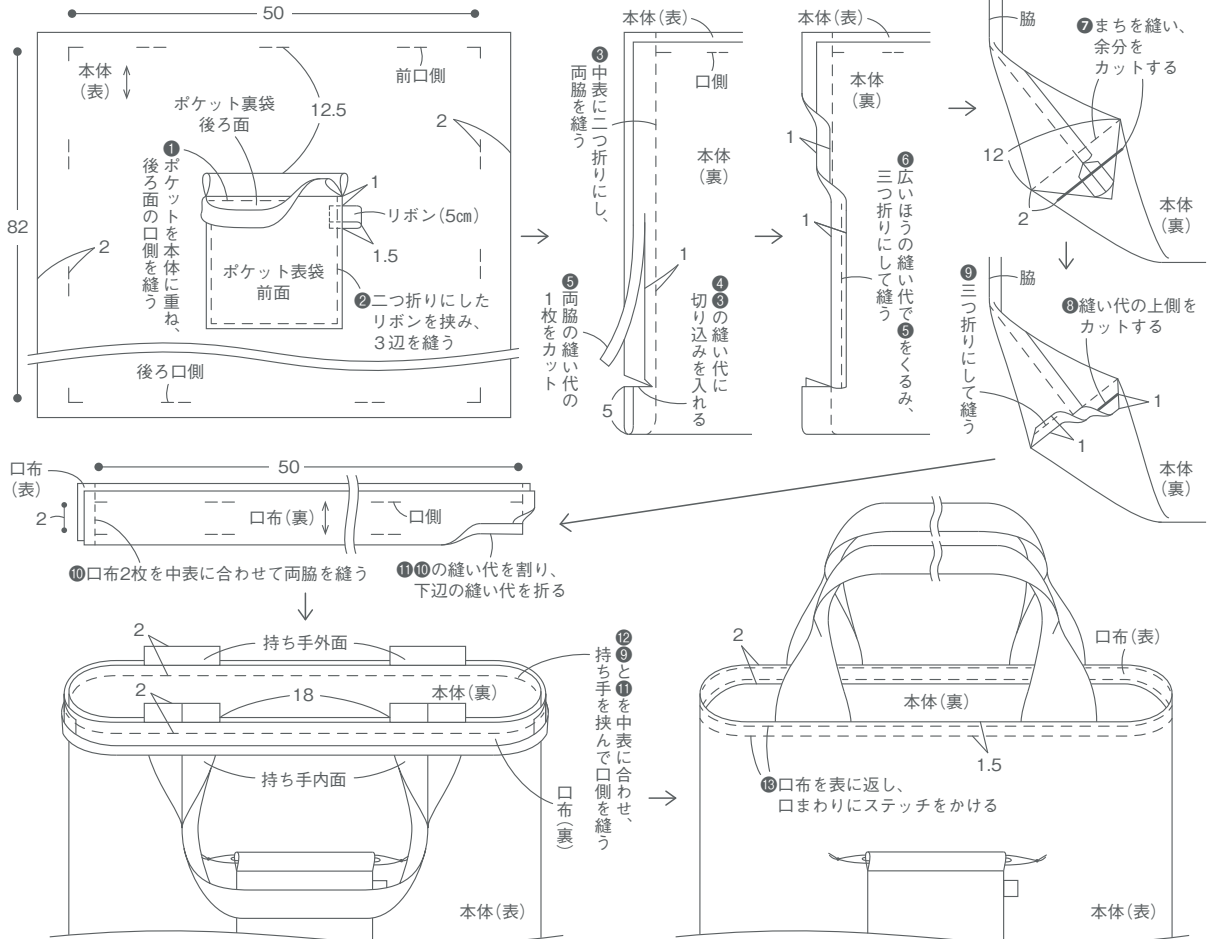
※縫い代は指定以外1cmつける

1 各パーツを作ります

〈ポケット〉



2 本体を作り、まとめます





19_ ウールのトートバッグ

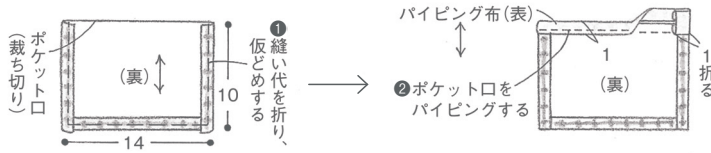
材料 (白持ち手) ---

表布 a・内ポケット 30×55cm、表布 b 20×55cm、表布 c・底板用布 40×55cm、
土台布・裏布・4cm幅パイピング布 55cm四方、飾り布 10cm四方、3cm幅テープ 1.5 m、
バッグ用底板 25×10cm

PHOTO_p.38

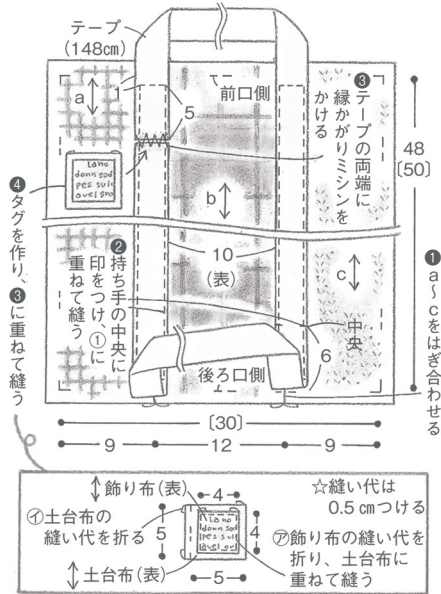
※縫い代は指定以外 1cmつける

1 内ポケット

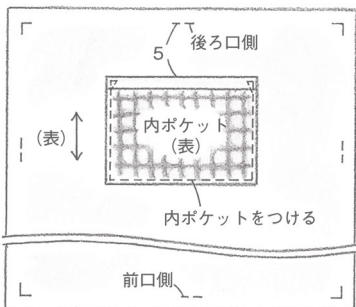


2 表布と裏布を作ります

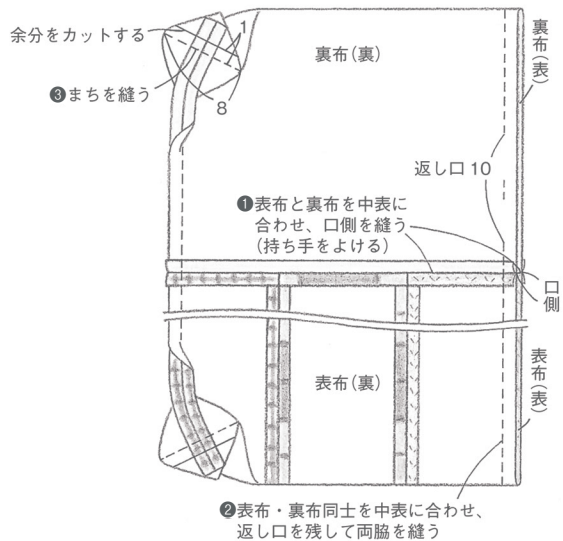
〈表布〉 ※持ち手の縫いつけ方は 93 ページ ポイント1 参照



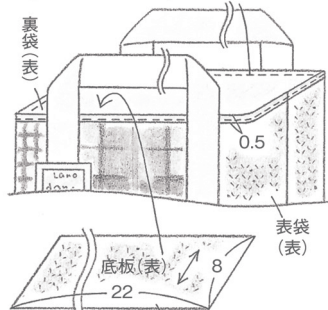
〈裏布〉 ※裏布は一枚布で〔 〕内の寸法で裁つ



3 まとめます



④表に返して返し口をとじる
⑤口まわりにステッチをかける



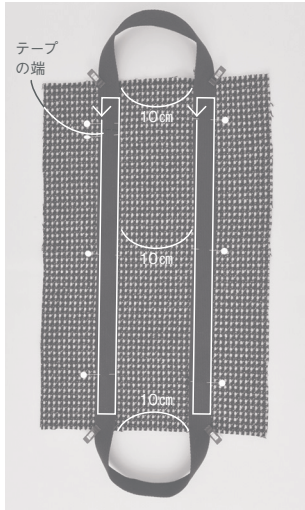
⑥ 93 ページ ポイント2 を参照して底板を作り、入れる

ウールのトートバッグ — 作り方のワンポイントレッスン —

持ち手をまっすぐに縫いつけるコツ、底板の作り方と角の布の始末など、やってみると意外と難しかったり、わかりづらい部分を詳しく解説します。

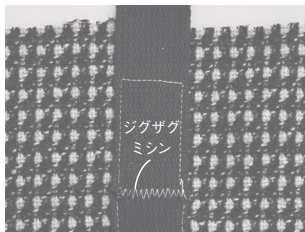
POINT 1

持ち手の縫いつけ方



1

1本のテープをぐるりとまち針でとめるが、まっすぐに縫いつけるために、常にテープ間の長さが一定であることを確認する。また厚みがあるテープは、細いまち針だと曲がってしまうので、太めのまち針を使うとよい。テープ部分を四角く縫いとめる。

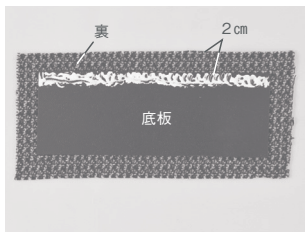


2

上からタグを縫いつける位置にテープの端を持ってくるが、テープを突き合わせた部分はジグザグミシンで縫いつけておくと平らに仕上がる。

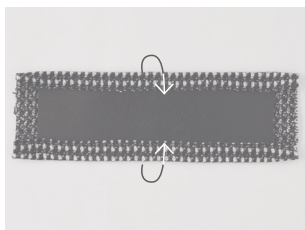
POINT 2

底板の作り方



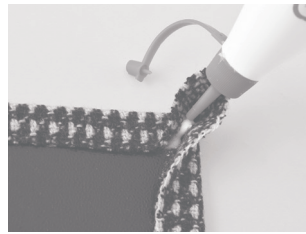
1

底板布の中央に底板を置く。底板の1辺にボンドをつけて折り代を折って貼る。



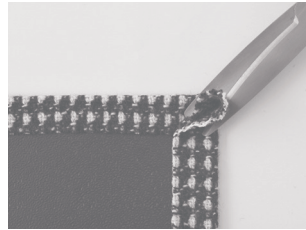
2

反対側も同様にして貼る。写真は長辺を貼ったところ。このあと短辺を貼る。



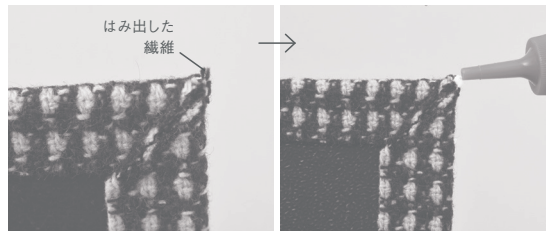
3

角の部分の布が重なる所は写真のように布をつまみ、そのすき間にボンドをつける。



4

つまんだ角の、布の立ち上がった部分を、切り落とす。



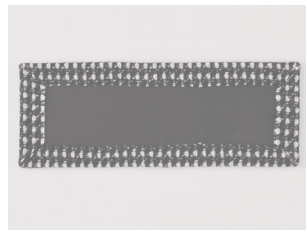
5

切ったままだと角の部分の繊維がほつれてきてしまうので、ボンドを角の部分にごく少量つける。



6

ボンドをつけた部分を指でならして、繊維を落ち着かせる。



7

4つの角とも同様にし、角の始末ができたとこ。ボンドをつけたことで角の布も固くなるので、しっかりとした底板になる。



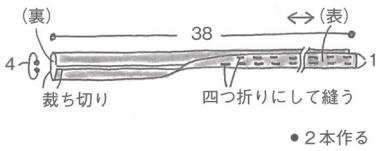
21_ ペたんこバッグ

PHOTO_p.44

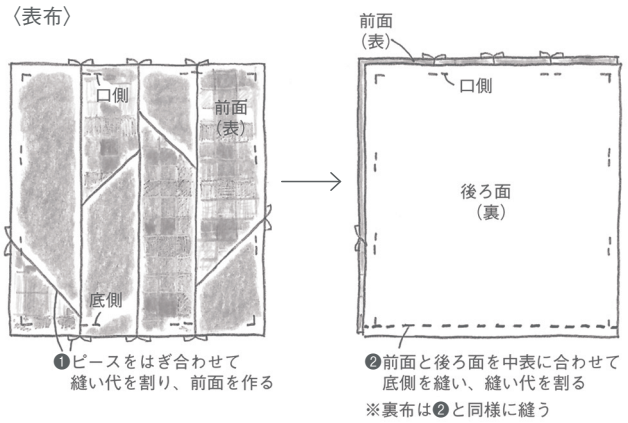
材料(B) ---
 パッチワーク布、後ろ面表布・持ち手 40×35cm、裏布 60×30cm

※縫い代は指定以外1cmつける

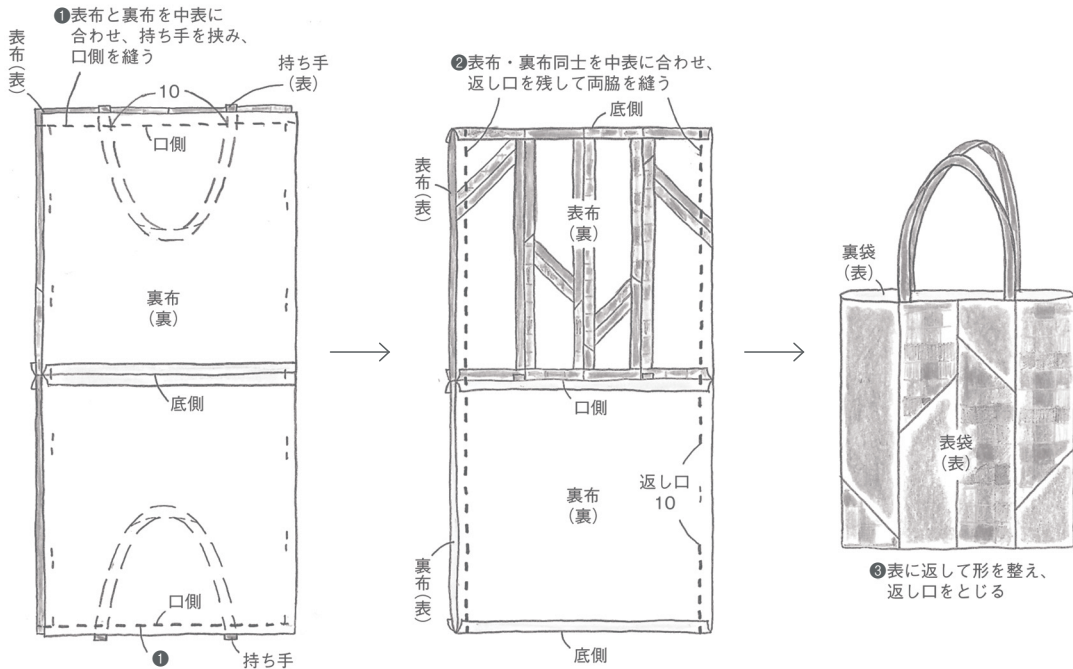
1 持ち手を作ります



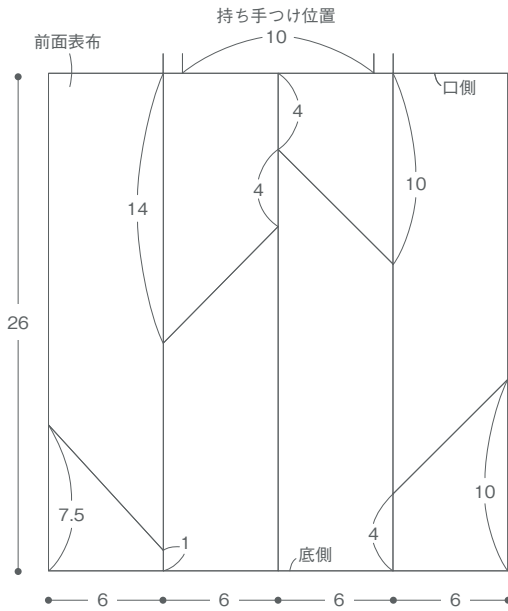
2 表布と裏布を作ります



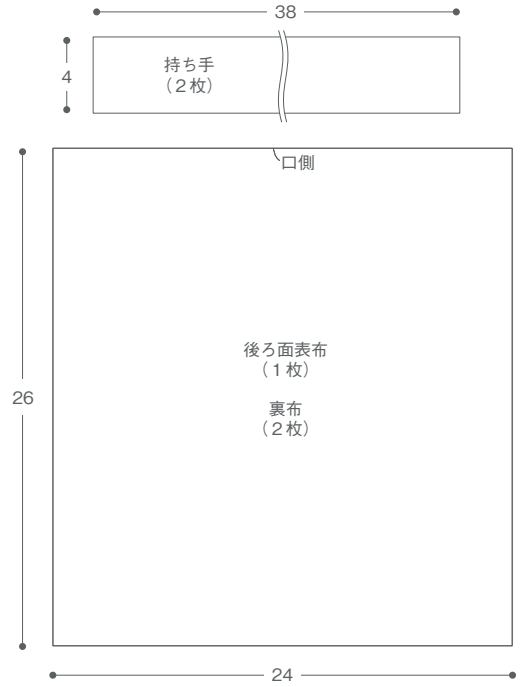
3 まとめます



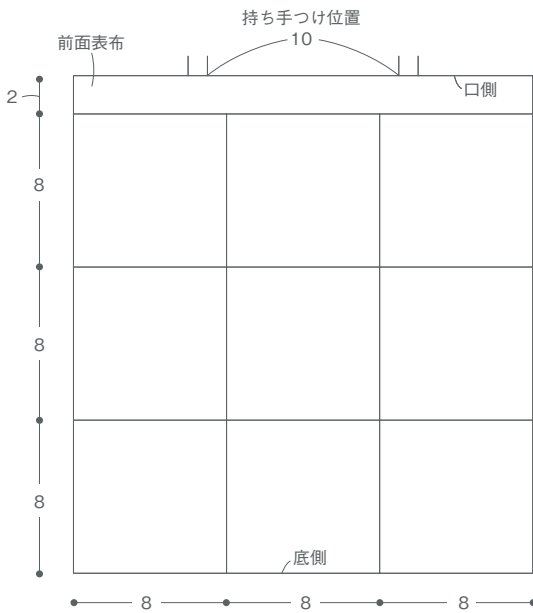
〈B 寸法図〉



〈ABC 共通〉



〈A 寸法図〉



〈C 寸法図〉

